

2023年度

授業計画書(シラバス)

学校法人MGL学園

太田動物専門学校

愛玩動物看護師学科

実務経験のある教員等による授業科目一覧

太田動物専門学校 商業実務専門課程 愛玩動物看護師学科

科目区分	必修・選択の別	必須選択	第1学年		第2学年		第3学年		授業時数合計	単位数
			週授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数		
専門科目	必修	生命倫理・動物福祉					1	30	30	2
		動物形態機能学	4	120					120	8
		動物繁殖学			1	30			30	2
		動物行動学			1	30			30	2
		動物栄養学	2	60					60	4
		比較動物学					2	60	60	2
		動物看護関連法規			0.5	15			15	1
		動物愛護・適正飼養関連法規			0.5	15			15	1
		動物看護学概論	1	30					30	2
		動物病理学	1	30					30	2
		動物薬理学			2	60			60	4
		動物感染症学	3	90					90	6
		公衆衛生学					2	60	60	4
		動物内科看護学			3	90			90	6
		動物外科看護学					2	60	60	4
		動物臨床看護学総論			1	30			30	2
		動物臨床看護学各論			4	120			120	8
		動物臨床検査学	1	30					30	2
		動物医療コミュニケーション			1	30			30	2
		愛玩動物学	2	60					60	4
		人と動物の関係学	1	30					30	2
		適正飼養指導論					1	60	60	2
		動物生活環境学	1	30					30	2
		ペット関連産業概論	1	30					30	2
		動物形態機能学実習	1	30					30	1
		動物内科看護学実習	2	60	2	60			120	4
		動物外科看護学実習					3	90	90	3
		動物臨床看護学実習			2	60			60	2
		動物臨床検査学実習	2	60					60	2
		動物愛護・適正飼養実習			2	60			60	2
		動物看護総合概論					4	120	120	4
一般科目	選択必修	グルーミング実習			4	120			120	4
		トリミング実習			9	270	9	270	540	18
		高度動物医療実習	4	120	2	60	14	420	600	20
		夏季特別講習			30			30	90	6
		ビジネスコミュニケーション	2	60	2	60			120	8
		基礎情報処理	1	30					30	2
		応用情報処理	1	30					30	2
		販売概論	2	60					60	4

商業実務専門課程で実務経験のある教員等による授業科目の合計単位数

158単位

客観的な指標の算出方法

客観的な指標を評定平均値とし、各履修科目の評定に該当の単位数を乗じた数値を総履修単位数(不合格も含む)で割って算出する

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
生命倫理・動物福祉	篠田元扶		3年/(2025年度開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	篠田 元扶...獣医師・農学修士・医学博士。獨協医科大学名誉教授。長年、医学研究に携わる。近年、ロン動物病院を開業し臨床も行っている			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。</p> <p>【授業目的】 生命倫理と動物福祉について学び、正しく動物に接する事が出来るようになる。</p>			
授業の到達目標	<p>1. 生命倫理の概念 2. 動物福祉の概念 3. 愛玩動物の福祉 4. 産業動物の福祉 5. 実験動物の福祉 6. 展示動物の福祉</p> <p>以上の内容について理解する</p>			
授業計画	<p>第1週 : 生命倫理①</p> <p>第2週 : 生命倫理②</p> <p>第3週 : 動物福祉の概要①</p> <p>第4週 : 動物福祉の概要②</p> <p>第5週 : 動物福祉と社会</p> <p>第6週 : 愛玩動物の福祉①</p> <p>第7週 : 愛玩動物の福祉②</p> <p>第8週 : 愛玩動物の福祉③</p> <p>第9週 : 産業動物の福祉①</p> <p>第10週 : 産業動物の福祉②</p> <p>第11週 : 産業動物の福祉③</p> <p>第12週 : 実験動物の福祉①</p> <p>第13週 : 展示動物の福祉</p> <p>第14週 : 野生動物の福祉</p> <p>第15週 : まとめ</p>			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物学』株式会社緑書房 、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 倫理・動物福祉について正しい知識を身につけることで、愛玩動物・産業動物・実験動物・展示動物それぞれの接し方・考え方ができるようになります。飼育動物は愛玩動物だけではありません。他の動物についての理解を深めることで、眞の動物愛護ができるようになりますので、頑張りましょう。</p>			

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース																																																												
動物形態機能学	高橋 藍 / 篠田 恵利 / 岡島優	1年/通年	全コース																																																												
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式																																																												
必修	120時間	8単位	講義 校内 実務家教員の授業																																																												
実務家教員の経歴	高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナー・チャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルストロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。 篠田恵利…動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアロマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター・キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得 岡島優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ																																																														
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。</p> <p>【授業目的】 動物看護の基礎科目である形態学、機能学、生化学を学ぶことで、動物の本質を理解し、応用分野のより深い理解につなげることができる。</p>																																																														
授業の到達目標	1. 生命のすがた 2. 循環器とその調節 3. 呼吸器とその調節 4. 消化器と栄養代謝 5. 内分泌とホルモン 6. 泌尿器と体液調節 7. 脳と神経 8. 運動器 9. 血液と造血器 10. 皮膚と感覚器 以上に関して理解する。																																																														
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 :</td> <td>体の基本構造／細胞の構造・機能 DNAの働き</td> <td>第16週 :</td> <td>泌尿器系とは 泌尿器系の解剖と機能</td> </tr> <tr> <td>第2週 :</td> <td>組織の構造と機能（上皮・筋・結合）</td> <td>第17週 :</td> <td>尿細管と集合管の機能 体液の分布・区分・調節機構</td> </tr> <tr> <td>第3週 :</td> <td>組織の構造と機能（神経） 体腔・解剖学的用語</td> <td>第18週 :</td> <td>腎クリアランス 電解質バランス・酸-塩基平衡</td> </tr> <tr> <td>第4週 :</td> <td>循環器系とは 心臓の構造・刺激伝達系</td> <td>第19週 :</td> <td>神経系とは（中枢と末梢） 中枢神経系（脳と脊髄の構造と機能）</td> </tr> <tr> <td>第5週 :</td> <td>血管系とリンパ系</td> <td>第20週 :</td> <td>自律神経系とは 体性神経系と内臓神経系</td> </tr> <tr> <td>第6週 :</td> <td>血圧調整機構・胎子循環 循環器系まとめ</td> <td>第21週 :</td> <td>反射とは 神経系まとめ</td> </tr> <tr> <td>第7週 :</td> <td>呼吸器とは 呼吸器の基本構造</td> <td>第22週 :</td> <td>骨格の構成 骨の名称と形状・機能</td> </tr> <tr> <td>第8週 :</td> <td>換気とガス交換 呼吸器まとめ</td> <td>第23週 :</td> <td>関節・骨格筋 屈筋と伸筋</td> </tr> <tr> <td>第9週 :</td> <td>消化器系とは 上部消化管の構造と機能</td> <td>第24週 :</td> <td>血液とその成分血球とは</td> </tr> <tr> <td>第10週 :</td> <td>下部消化管の構造と機能 消化と吸收</td> <td>第25週 :</td> <td>血液凝固と血栓線溶系運動器・血液まとめ</td> </tr> <tr> <td>第11週 :</td> <td>栄養素の代謝 消化器系まとめ</td> <td>第26週 :</td> <td>皮膚の構造と機能 皮膚の付属器官</td> </tr> <tr> <td>第12週 :</td> <td>内分泌とは 内分泌器とホルモン①</td> <td>第27週 :</td> <td>体温調節機構 体性感覚と痛覚</td> </tr> <tr> <td>第13週 :</td> <td>内分泌器とホルモン②</td> <td>第28週 :</td> <td>特殊感覚と感覚器 視覚器・平衡聴覚器・嗅覚器・味覚器</td> </tr> <tr> <td>第14週 :</td> <td>前半まとめ①</td> <td>第29週 :</td> <td>後半まとめ①</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>前半まとめ②</td> <td>第30週 :</td> <td>後半まとめ②</td> </tr> </table>			第1週 :	体の基本構造／細胞の構造・機能 DNAの働き	第16週 :	泌尿器系とは 泌尿器系の解剖と機能	第2週 :	組織の構造と機能（上皮・筋・結合）	第17週 :	尿細管と集合管の機能 体液の分布・区分・調節機構	第3週 :	組織の構造と機能（神経） 体腔・解剖学的用語	第18週 :	腎クリアランス 電解質バランス・酸-塩基平衡	第4週 :	循環器系とは 心臓の構造・刺激伝達系	第19週 :	神経系とは（中枢と末梢） 中枢神経系（脳と脊髄の構造と機能）	第5週 :	血管系とリンパ系	第20週 :	自律神経系とは 体性神経系と内臓神経系	第6週 :	血圧調整機構・胎子循環 循環器系まとめ	第21週 :	反射とは 神経系まとめ	第7週 :	呼吸器とは 呼吸器の基本構造	第22週 :	骨格の構成 骨の名称と形状・機能	第8週 :	換気とガス交換 呼吸器まとめ	第23週 :	関節・骨格筋 屈筋と伸筋	第9週 :	消化器系とは 上部消化管の構造と機能	第24週 :	血液とその成分血球とは	第10週 :	下部消化管の構造と機能 消化と吸收	第25週 :	血液凝固と血栓線溶系運動器・血液まとめ	第11週 :	栄養素の代謝 消化器系まとめ	第26週 :	皮膚の構造と機能 皮膚の付属器官	第12週 :	内分泌とは 内分泌器とホルモン①	第27週 :	体温調節機構 体性感覚と痛覚	第13週 :	内分泌器とホルモン②	第28週 :	特殊感覚と感覚器 視覚器・平衡聴覚器・嗅覚器・味覚器	第14週 :	前半まとめ①	第29週 :	後半まとめ①	第15週 :	前半まとめ②	第30週 :	後半まとめ②
第1週 :	体の基本構造／細胞の構造・機能 DNAの働き	第16週 :	泌尿器系とは 泌尿器系の解剖と機能																																																												
第2週 :	組織の構造と機能（上皮・筋・結合）	第17週 :	尿細管と集合管の機能 体液の分布・区分・調節機構																																																												
第3週 :	組織の構造と機能（神経） 体腔・解剖学的用語	第18週 :	腎クリアランス 電解質バランス・酸-塩基平衡																																																												
第4週 :	循環器系とは 心臓の構造・刺激伝達系	第19週 :	神経系とは（中枢と末梢） 中枢神経系（脳と脊髄の構造と機能）																																																												
第5週 :	血管系とリンパ系	第20週 :	自律神経系とは 体性神経系と内臓神経系																																																												
第6週 :	血圧調整機構・胎子循環 循環器系まとめ	第21週 :	反射とは 神経系まとめ																																																												
第7週 :	呼吸器とは 呼吸器の基本構造	第22週 :	骨格の構成 骨の名称と形状・機能																																																												
第8週 :	換気とガス交換 呼吸器まとめ	第23週 :	関節・骨格筋 屈筋と伸筋																																																												
第9週 :	消化器系とは 上部消化管の構造と機能	第24週 :	血液とその成分血球とは																																																												
第10週 :	下部消化管の構造と機能 消化と吸收	第25週 :	血液凝固と血栓線溶系運動器・血液まとめ																																																												
第11週 :	栄養素の代謝 消化器系まとめ	第26週 :	皮膚の構造と機能 皮膚の付属器官																																																												
第12週 :	内分泌とは 内分泌器とホルモン①	第27週 :	体温調節機構 体性感覚と痛覚																																																												
第13週 :	内分泌器とホルモン②	第28週 :	特殊感覚と感覚器 視覚器・平衡聴覚器・嗅覚器・味覚器																																																												
第14週 :	前半まとめ①	第29週 :	後半まとめ①																																																												
第15週 :	前半まとめ②	第30週 :	後半まとめ②																																																												
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物学』株式会社緑書房 、そのほか適宜プリント配布を行う																																																														
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末テスト 100%																																																														
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 動物形態機能学は、生命の維持や動物の体の構成を学ぶための重要な分野です。全身の構造や機能に触れるため、覚えることが多いですが、その一方で、今後の授業を理解していくために必須の知識がたくさん詰まっています。何度も何度も復習をして、覚えていきましょう。わかりやすく・覚えやすくなるよう心がけていきますので、一緒に頑張っていきましょう。わからないことがあれば、気軽に積極的に質問してください。</p>																																																														

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物繁殖学	篠田 恵利		2年/(2024年度 開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	篠田恵利...動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアロマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター・キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。</p> <p>【授業目的】 繁殖学を学ぶ事によって、交配からや新生子管理が出来るようになる。</p>			
授業の到達目標	1. 生殖器の形態と機能 2. 性周期と交配 3. 妊娠と分娩 4. 新生子管理 5. 遺伝学概論 以上について理解する。			
授業計画	第1週： 生殖器の形態と機能① 第2週： 生殖器の形態と機能② 第3週： 生殖器の形態と機能③ 第4週： 発情周期と交配① 第5週： 発情周期と交配② 第6週： 発情周期と交配③ 第7週： 妊娠と分娩① 第8週： 妊娠と分娩② 第9週： 妊娠と分娩③ 第10週： 新生子管理① 第11週： 新生子管理② 第12週： 新生子管理③ 第13週： 遺伝学概論① 第14週： 遺伝学概論② 第15週： 遺伝学概論③			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%			
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 繁殖学は種の保存にとってとても大切な分野です。出産は母犬の命に関わり、新生子の飼育環境は成長の過程におおきな影響を与えます。また遺伝について学ぶことで、近年問題になっている遺伝疾患をへらすこともできます。様々な用語が出てくるのでわからないことがあつたら気軽に質問してください。一緒に頑張りましょう。</p>			

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物行動学	高橋 藍		2年/(2024年度 開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナーチャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルブロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。 【授業目的】 行動様式を学び、問題行動の原因・修正・予防を知ることで、飼主への相談にのることが出来るようになる。</p>			
授業の到達目標	1. 動物行動学の基礎 2. 個体維持行動 3. 発達過程と社会行動 4. 学習理論 5. 問題行動 6. 行動治療 以上の内容を理解する。			
授業計画	第1週 : 動物行動学の基礎① 第2週 : 動物行動学の基礎② 第3週 : 動物行動学の基礎③ 第4週 : 個体維持行動 第5週 : 発達過程と社会行動① 第6週 : 発達過程と社会行動② 第7週 : 発達過程と社会行動③ 第8週 : 学習理論① 第9週 : 学習理論② 第10週 : 問題行動① 第11週 : 問題行動② 第12週 : 問題行動③ 第13週 : 行動治療① 第14週 : 行動治療② 第15週 : 行動治療③			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%			
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 ペット関係のどの職業に就くのにも、犬や猫は一番多く扱う動物ですので、犬の扱いができないと仕事になりません。犬や猫の行動を理解し、犬や猫から好かれる動物のプロを目指して一緒に頑張りましょう！</p>			

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース
動物栄養学	篠田 恵利	1年/前期	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式
必修	60時間	4単位	講義 校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	篠田恵利…動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアロマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター・キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得		
授業概要・目的	<p>【授業概要】 5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。</p> <p>【授業目的】 栄養素・フードの種類・給餌方法を正しく理解し、食事管理を適切にできるとともに飼主に対し食事指導ができるようになる。</p>		
授業の到達目標	1. 基礎栄養 2. 栄養要求量 3. フードと栄養指導 4. 疾患と栄養 5. 強制給餌と経管・静脈栄養法 以上の内容を理解する。		
授業計画	第1週 : 基礎栄養① 第2週 : 基礎栄養② 第3週 : 基礎栄養③ 第4週 : 栄養要求量④ 第5週 : フードと栄養指導① 第6週 : フードと栄養指導② 第7週 : フードと栄養指導③ 第8週 : フードと栄養指導④ 第9週 : 疾患別の食事の特徴① 第10週 : 疾患別の食事の特徴② 第11週 : 疾患別の食事の特徴③ 第12週 : 疾患別の食事の特徴④ 第13週 : 疾患別の食事の特徴⑤ 第14週 : 栄養療法① 第15週 : 栄養療法② まとめ		
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う		
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%		
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は事前に学校に連絡をしてください。授業の進行状況に応じて多少の変動があります。授業でお伝えしますのでよく確認をしてください。</p> <p>【メッセージ】 東洋医学では医食同源といわれ、食事によって病気になることもあれば病気を治すこともできます。覚えることが多いですが、正しい食餌を適切に選択し動物の健康管理に役立てましょう。</p>		

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																																																												
比較動物学	篠田 元扶		3年/(2025年度開講)	全コース																																																												
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																																																												
必修	60時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業																																																												
実務家教員の経歴	篠田 元扶...獣医師・農学修士・医学博士。獨協医科大学名誉教授。長年、医学研究に携わる。近年、ロン動物病院を開業し臨床も行っている																																																															
授業概要・目的	<p>【授業概要】 飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。</p> <p>【授業目的】 愛玩動物以外の動物について学ぶことで、多様な動物について理解を深め自然環境の保全を考え行動できるようになる。</p>																																																															
授業の到達目標	<p>1. 動物の種類及び特性 2. 産業動物 3. 実験動物 4. 野生動物 5. 展示動物 以上の内容を理解する。</p>																																																															
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 :</td> <td>飼養動物の種類と特性</td> <td>第16週 :</td> <td>実験動物⑧ 動物実験代替法</td> </tr> <tr> <td>第2週 :</td> <td>産業動物① 産業動物の種類と特性</td> <td>第17週 :</td> <td>野生動物① 野生動物の分類と生物多様性</td> </tr> <tr> <td>第3週 :</td> <td>産業動物② 産業動物の解剖と生理</td> <td>第18週 :</td> <td>野生動物② 野生動物の分類と生物多様性</td> </tr> <tr> <td>第4週 :</td> <td>産業動物③ 産業動物の解剖と生理</td> <td>第19週 :</td> <td>野生動物③ 絶滅危惧種</td> </tr> <tr> <td>第5週 :</td> <td>産業動物④ 産業動物の飼養管理</td> <td>第20週 :</td> <td>野生動物④ 絶滅危惧種</td> </tr> <tr> <td>第6週 :</td> <td>産業動物⑤ 産業動物の飼養管理</td> <td>第21週 :</td> <td>野生動物⑤ 鳥獣害の現状と保全の意義</td> </tr> <tr> <td>第7週 :</td> <td>産業動物⑥ 産業動物の飼養管理</td> <td>第22週 :</td> <td>野生動物⑥ 鳥獣害の現状と保全の意義</td> </tr> <tr> <td>第8週 :</td> <td>産業動物⑦ 畜産業と酪農・まとめ</td> <td>第23週 :</td> <td>野生動物⑦ 外来生物</td> </tr> <tr> <td>第9週 :</td> <td>実験動物① 実験動物とは</td> <td>第24週 :</td> <td>展示動物① 動物園について</td> </tr> <tr> <td>第10週 :</td> <td>実験動物② 実験動物の種類</td> <td>第25週 :</td> <td>展示動物② 個体・群管理</td> </tr> <tr> <td>第11週 :</td> <td>実験動物③ 実験動物の種類</td> <td>第26週 :</td> <td>展示動物③ 個体・群管理</td> </tr> <tr> <td>第12週 :</td> <td>実験動物④ 管理の重要性</td> <td>第27週 :</td> <td>展示動物④ 行動管理</td> </tr> <tr> <td>第13週 :</td> <td>実験動物⑤ 管理の重要性</td> <td>第28週 :</td> <td>展示動物⑤ 施設管理</td> </tr> <tr> <td>第14週 :</td> <td>実験動物⑥ 動物実験の基本技術</td> <td>第29週 :</td> <td>まとめ</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>実験動物⑦ 動物実験の基本技術</td> <td>第30週 :</td> <td>まとめ</td> </tr> </table>				第1週 :	飼養動物の種類と特性	第16週 :	実験動物⑧ 動物実験代替法	第2週 :	産業動物① 産業動物の種類と特性	第17週 :	野生動物① 野生動物の分類と生物多様性	第3週 :	産業動物② 産業動物の解剖と生理	第18週 :	野生動物② 野生動物の分類と生物多様性	第4週 :	産業動物③ 産業動物の解剖と生理	第19週 :	野生動物③ 絶滅危惧種	第5週 :	産業動物④ 産業動物の飼養管理	第20週 :	野生動物④ 絶滅危惧種	第6週 :	産業動物⑤ 産業動物の飼養管理	第21週 :	野生動物⑤ 鳥獣害の現状と保全の意義	第7週 :	産業動物⑥ 産業動物の飼養管理	第22週 :	野生動物⑥ 鳥獣害の現状と保全の意義	第8週 :	産業動物⑦ 畜産業と酪農・まとめ	第23週 :	野生動物⑦ 外来生物	第9週 :	実験動物① 実験動物とは	第24週 :	展示動物① 動物園について	第10週 :	実験動物② 実験動物の種類	第25週 :	展示動物② 個体・群管理	第11週 :	実験動物③ 実験動物の種類	第26週 :	展示動物③ 個体・群管理	第12週 :	実験動物④ 管理の重要性	第27週 :	展示動物④ 行動管理	第13週 :	実験動物⑤ 管理の重要性	第28週 :	展示動物⑤ 施設管理	第14週 :	実験動物⑥ 動物実験の基本技術	第29週 :	まとめ	第15週 :	実験動物⑦ 動物実験の基本技術	第30週 :	まとめ
第1週 :	飼養動物の種類と特性	第16週 :	実験動物⑧ 動物実験代替法																																																													
第2週 :	産業動物① 産業動物の種類と特性	第17週 :	野生動物① 野生動物の分類と生物多様性																																																													
第3週 :	産業動物② 産業動物の解剖と生理	第18週 :	野生動物② 野生動物の分類と生物多様性																																																													
第4週 :	産業動物③ 産業動物の解剖と生理	第19週 :	野生動物③ 絶滅危惧種																																																													
第5週 :	産業動物④ 産業動物の飼養管理	第20週 :	野生動物④ 絶滅危惧種																																																													
第6週 :	産業動物⑤ 産業動物の飼養管理	第21週 :	野生動物⑤ 鳥獣害の現状と保全の意義																																																													
第7週 :	産業動物⑥ 産業動物の飼養管理	第22週 :	野生動物⑥ 鳥獣害の現状と保全の意義																																																													
第8週 :	産業動物⑦ 畜産業と酪農・まとめ	第23週 :	野生動物⑦ 外来生物																																																													
第9週 :	実験動物① 実験動物とは	第24週 :	展示動物① 動物園について																																																													
第10週 :	実験動物② 実験動物の種類	第25週 :	展示動物② 個体・群管理																																																													
第11週 :	実験動物③ 実験動物の種類	第26週 :	展示動物③ 個体・群管理																																																													
第12週 :	実験動物④ 管理の重要性	第27週 :	展示動物④ 行動管理																																																													
第13週 :	実験動物⑤ 管理の重要性	第28週 :	展示動物⑤ 施設管理																																																													
第14週 :	実験動物⑥ 動物実験の基本技術	第29週 :	まとめ																																																													
第15週 :	実験動物⑦ 動物実験の基本技術	第30週 :	まとめ																																																													
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う																																																															
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>																																																															
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 愛玩動物以外の動物を学ぶことで、愛玩動物への理解を深めることができます。産業動物や実験動物は人間のために役になってくれる動物であり、社会生活に欠かせない動物たちです。また、自然環境の保全と人間社会のバランスをとるうえで野生動物・展示動物への理解を深めることも大切です。一見関係ないように見えますが、愛玩動物を扱うために一緒に学びましょう。</p>																																																															

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物看護関連法規	門脇 清		2年/(2024年度 開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	15時間	1単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	門脇 清...平成29年弁護士登録以来、弁護士として活躍			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。</p> <p>【授業目的】 法律を遵守し、動物業界で活躍する人材になれる。</p>			
授業の到達目標	<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法学総論 2. 愛玩動物看護師法 3. 獣医療関連行政法規 4. 公衆衛生行政法規 5. 薬事行政法規 <p>以上の内容を理解する。</p>			
授業計画	<p>第1週： 法学総論</p> <p>第2週： 愛玩動物看護師法①</p> <p>第3週： 愛玩動物看護師法②</p> <p>第4週： 獣医療関連行政法規</p> <p>第5週： 公衆衛生行政法規①</p> <p>第6週： 公衆衛生行政法規②</p> <p>第7週： 公衆衛生行政法規③</p> <p>第8週： 薬事行政法規①</p> <p>第9週： 薬事行政法規②</p> <p>第10週： 薬事行政法規③</p> <p>第11週： 薬事行政法規④</p> <p>第12週： 薬事行政法規⑤</p> <p>第13週： 薬事行政法規⑥</p> <p>第14週： まとめ</p> <p>第15週： まとめ</p>			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>			
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 法律は難しいだけのものではありません。国民は身近なところでたくさんの法律に守られています。また、愛玩動物看護師にとっても大切な法律があります。わからないことがあれば何でも気軽に聞いてください！</p>			

科目名	担当教員名			学年/学期	対象コース		
動物愛護・適正飼養関連法規	門脇 清			2年/(2024年度開講)	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
必修	15時間	1単位	講義	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	門脇 清...平成29年弁護士登録以来、弁護士として活躍						
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物の愛護及び適正飼養に関する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。</p> <p>【授業目的】 動物愛護及び対象動物の取り扱いを理解し、法律を遵守することが出来ると共に、自然環境を守ることが出来るようになる。</p>						
授業の到達目標	<p>1. 愛護・適正飼養の基本となる概念 2. 愛護・適正飼養関連行政法規 3. 社会福祉行政・環境衛生法規 4. 野生動物等に関する法律及び条約 以上の内容を理解する。</p>						
授業計画	<p>第1週： 愛護・適正飼養の基本となる概念①</p> <p>第2週： 愛護・適正飼養の基本となる概念②</p> <p>第3週： 愛護・適正飼養関連行政法規①</p> <p>第4週： 愛護・適正飼養関連行政法規②</p> <p>第5週： 社会福祉行政・環境衛生法規①</p> <p>第6週： 社会福祉行政・環境衛生法規②</p> <p>第7週： 生物多様性</p> <p>第8週： 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律</p> <p>第9週： 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約</p> <p>第10週： 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律</p> <p>第11週： 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律</p> <p>第12週： 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約</p> <p>第13週： 自然公園法</p> <p>第14週： 文化財保護法</p> <p>第15週： まとめ</p>						
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う						
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 法律は難しいだけのものではありません。国民は身近なところでたくさんの法律に守られています。動物愛護・環境保全のために様々な法律・条約があります。カタカナなども多く混乱しやすい所もあるかもしれません、わからないことがあれば何でも気軽に聞いてください！一緒に頑張りましょう。</p>						

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース
動物看護学概論	岡島 優	1年/前期	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式
必修	30時間	2単位	講義 校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ		
授業概要・目的	<p>【授業概要】 獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。</p> <p>【授業目的】 生命倫理と動物福祉について学び、正しく動物に接する事が出来るようになる。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 動物看護の基本となる概念 2. 動物看護の提供体制 3. 愛玩動物看護師の社会的立場 以上的内容を理解する。</p>		
授業計画	<p>第1週 : 動物看護の目的・概念</p> <p>第2週 : 倫理・歴史①</p> <p>第3週 : 倫理・歴史②</p> <p>第4週 : 動物の健康・福祉・QOL</p> <p>第5週 : 動物病院における愛玩動物看護師の役割</p> <p>第6週 : 社会における動物病院の役割</p> <p>第7週 : 一次診療・二次診療・救急獣医療の役割と連携</p> <p>第8週 : インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、守秘義務</p> <p>第9週 : 診療録（カルテ）と動物看護記録の作成、保存義務</p> <p>第10週 : 職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法</p> <p>第11週 : 職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法</p> <p>第12週 : 職能団体</p> <p>第13週 : 愛玩動物看護師の資格制度・業務範囲・資格認定機関</p> <p>第14週 : 愛玩動物看護師に関するその他の代表的な組織・団体</p> <p>第15週 : 動物看護師の業務と資格制度の国際的な違い</p>		
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う		
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末テスト100%</p>		
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡してください</p> <p>【メッセージ】 獣医療と動物看護の歴史及び資格制度、そして動物看護技術を身につける前に必要な要素について学びましょう。</p>		

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物病理学	篠田 恵利		1年/前期	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	篠田恵利…動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアロマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター・キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。</p> <p>【授業目的】</p>			
授業の到達目標	<p>1. 動物病理学の基礎 2. 細胞や組織に生じる変化 3. 循環障害 4. 炎症 5. 腫瘍 6. 先天異常</p> <p>以上の内容を理解する。</p>			
授業計画	<p>第1週 : 病理学とは・検査方法</p> <p>第2週 : 細胞や組織に生じる変化①</p> <p>第3週 : 細胞や組織に生じる変化②</p> <p>第4週 : 細胞や組織に生じる変化③</p> <p>第5週 : 細胞や組織に生じる変化④</p> <p>第6週 : 循環障害①</p> <p>第7週 : 循環障害②</p> <p>第8週 : 病理学まとめ（前半）</p> <p>第9週 : 炎症①</p> <p>第10週 : 炎症②</p> <p>第11週 : 腫瘍①</p> <p>第12週 : 腫瘍②</p> <p>第13週 : 先天異常①</p> <p>第14週 : 先天異常②</p> <p>第15週 : 病理学まとめ（後半）</p>			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末テスト 100%</p>			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 病理学は、病気が起る原因が大きく関わっているため、症状から病名を見極めるのに重要な分野になります。覚えることが多く、さらにそれが単語でつながりがあまりないので、覚えるのが大変などころもあるかと思います。できる限り、わかりやすく・覚えやすくなるよう心がけます。わからないことがあれば、積極的に質問してください。</p>			

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																														
動物薬理学	小嶋 知久佐		2年/(2024年度開講)	全コース																														
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																														
必修	60時間	4単位	講義	校内 実務家教員の授業																														
実務家教員の経歴	小嶋 知久佐...動物病院で動物看護師として勤務。その後看護師資格を取得し三次救急医療病院にて勤務。愛玩動物看護師資格取得。																																	
授業概要・目的	<p>【授業概要】 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病的診断や治療にどのように用いられるかを理解する。</p> <p>【授業目的】 薬物の特徴について学ぶことで、薬物を正しく扱うことができる。また、作用機序や副作用について理解したうえで対象動物の看護ができるようになる。</p>																																	
授業の到達目標	<p>1. 動物薬理学の基礎 3. 神経系に作用する薬物 5. 循環器・泌尿器に作用する薬物 7. オータコイド、代謝・内分泌系の薬物 9. 感染症の治療、予防に用いられる薬物</p> <p>2. 愛玩動物看護師による薬物の取扱い 4. 呼吸器系に作用する薬物 6. 消化器に作用する薬物 8. 血液・免疫系に作用する薬物 10. 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物</p> <p>以上の内容を理解する。</p>																																	
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 : 動物薬理学の基礎</td> <td>第16週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物③</td> </tr> <tr> <td>第2週 : 愛玩動物看護師による薬物の取扱い①</td> <td>第17週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物④</td> </tr> <tr> <td>第3週 : 愛玩動物看護師による薬物の取扱い②</td> <td>第18週 : 血液・免疫系に作用する薬物①</td> </tr> <tr> <td>第4週 : 神経系に作用する薬物 ①</td> <td>第19週 : 血液・免疫系に作用する薬物②</td> </tr> <tr> <td>第5週 : 神経系に作用する薬物 ②</td> <td>第20週 : 血液・免疫系に作用する薬物③</td> </tr> <tr> <td>第6週 : 呼吸器系に作用する薬物①</td> <td>第21週 : 血液・免疫系に作用する薬物④</td> </tr> <tr> <td>第7週 : 呼吸器系に作用する薬物②</td> <td>第22週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ①</td> </tr> <tr> <td>第8週 : 循環器・泌尿器に作用する薬物 ①</td> <td>第23週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ②</td> </tr> <tr> <td>第9週 : 循環器・泌尿器に作用する薬物 ②</td> <td>第24週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ③</td> </tr> <tr> <td>第10週 : 消化器に作用する薬物①</td> <td>第25週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ④</td> </tr> <tr> <td>第11週 : 消化器に作用する薬物②</td> <td>第26週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ①</td> </tr> <tr> <td>第12週 : 消化器に作用する薬物③</td> <td>第27週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ②</td> </tr> <tr> <td>第13週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物①</td> <td>第28週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ③</td> </tr> <tr> <td>第14週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物②</td> <td>第29週 :</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>第30週 :</td> </tr> </table>				第1週 : 動物薬理学の基礎	第16週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物③	第2週 : 愛玩動物看護師による薬物の取扱い①	第17週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物④	第3週 : 愛玩動物看護師による薬物の取扱い②	第18週 : 血液・免疫系に作用する薬物①	第4週 : 神経系に作用する薬物 ①	第19週 : 血液・免疫系に作用する薬物②	第5週 : 神経系に作用する薬物 ②	第20週 : 血液・免疫系に作用する薬物③	第6週 : 呼吸器系に作用する薬物①	第21週 : 血液・免疫系に作用する薬物④	第7週 : 呼吸器系に作用する薬物②	第22週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ①	第8週 : 循環器・泌尿器に作用する薬物 ①	第23週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ②	第9週 : 循環器・泌尿器に作用する薬物 ②	第24週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ③	第10週 : 消化器に作用する薬物①	第25週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ④	第11週 : 消化器に作用する薬物②	第26週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ①	第12週 : 消化器に作用する薬物③	第27週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ②	第13週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物①	第28週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ③	第14週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物②	第29週 :	第15週 :	第30週 :
第1週 : 動物薬理学の基礎	第16週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物③																																	
第2週 : 愛玩動物看護師による薬物の取扱い①	第17週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物④																																	
第3週 : 愛玩動物看護師による薬物の取扱い②	第18週 : 血液・免疫系に作用する薬物①																																	
第4週 : 神経系に作用する薬物 ①	第19週 : 血液・免疫系に作用する薬物②																																	
第5週 : 神経系に作用する薬物 ②	第20週 : 血液・免疫系に作用する薬物③																																	
第6週 : 呼吸器系に作用する薬物①	第21週 : 血液・免疫系に作用する薬物④																																	
第7週 : 呼吸器系に作用する薬物②	第22週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ①																																	
第8週 : 循環器・泌尿器に作用する薬物 ①	第23週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ②																																	
第9週 : 循環器・泌尿器に作用する薬物 ②	第24週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ③																																	
第10週 : 消化器に作用する薬物①	第25週 : 感染症の治療、予防に用いられる薬物 ④																																	
第11週 : 消化器に作用する薬物②	第26週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ①																																	
第12週 : 消化器に作用する薬物③	第27週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ②																																	
第13週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物①	第28週 : 悪性腫瘍の治療に用いられる薬物 ③																																	
第14週 : オータコイド、代謝・内分泌系の薬物②	第29週 :																																	
第15週 :	第30週 :																																	
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う																																	
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>																																	
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 動物医療において、様々な薬剤を扱っていきます。獣医師が処方する薬剤を理解して、正しく看護ができるようになります。様々な薬品名が出てきますが、わかないことがあつたら積極的に質問をしてください。形態機能学を理解しておくと理解が深まります。一緒に頑張りましょう。</p>																																	

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース																																																													
動物感染症学	篠田 恵利	1年/通年	全コース																																																													
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																																																												
必修	90時間	6単位	講義	校内 実務家教員の授業																																																												
実務家教員の経歴	篠田恵利…動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアロマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター・キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得																																																															
授業概要・目的	<p>【授業概要】 微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関する免疫学の基礎について理解する。</p> <p>【授業目的】 微生物や寄生虫について学び、感染症に対する理解をすることで、正しく感染症対策を行うことが出来るようになる。</p>																																																															
授業の到達目標	<p>1. 微生物の分類と特徴 2. 微生物検査 3. 寄生虫の分類と特徴 4. 動物感染症 5. 免疫学の基礎と応用 以上の内容を理解する。</p>																																																															
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 : 微生物の分類と特徴</td><td>第16週 : 動物感染症 概論</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第2週 : 微生物検査①</td><td>第17週 : 動物感染症①</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第3週 : 微生物検査②</td><td>第18週 : 動物感染症②</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第4週 : 動物寄生虫学①</td><td>第19週 : 動物感染症③</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第5週 : 動物寄生虫学②</td><td>第20週 : 動物感染症④</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第6週 : 動物寄生虫学③</td><td>第21週 : 動物感染症⑤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第7週 : 動物寄生虫学④</td><td>第22週 : 動物感染症⑥</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第8週 : 動物寄生虫学⑤・まとめ</td><td>第23週 : 動物感染症⑦</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第9週 : 動物寄生虫学⑥</td><td>第24週 : 動物感染症⑧</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第10週 : 動物寄生虫学⑦</td><td>第25週 : 動物感染症⑨</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第11週 : 動物寄生虫学⑧</td><td>第26週 : 動物感染症⑩</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第12週 : 動物寄生虫学⑨</td><td>第27週 : 動物感染症まとめ</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第13週 : 動物寄生虫学⑩・まとめ</td><td>第28週 : まとめ（試験対策）</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第14週 : 免疫学の基礎と応用①</td><td>第29週 : まとめ（試験対策）</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>第15週 : 免疫学の基礎と応用②</td><td>第30週 : まとめ（試験対策）</td><td></td><td></td></tr> </table>				第1週 : 微生物の分類と特徴	第16週 : 動物感染症 概論			第2週 : 微生物検査①	第17週 : 動物感染症①			第3週 : 微生物検査②	第18週 : 動物感染症②			第4週 : 動物寄生虫学①	第19週 : 動物感染症③			第5週 : 動物寄生虫学②	第20週 : 動物感染症④			第6週 : 動物寄生虫学③	第21週 : 動物感染症⑤			第7週 : 動物寄生虫学④	第22週 : 動物感染症⑥			第8週 : 動物寄生虫学⑤・まとめ	第23週 : 動物感染症⑦			第9週 : 動物寄生虫学⑥	第24週 : 動物感染症⑧			第10週 : 動物寄生虫学⑦	第25週 : 動物感染症⑨			第11週 : 動物寄生虫学⑧	第26週 : 動物感染症⑩			第12週 : 動物寄生虫学⑨	第27週 : 動物感染症まとめ			第13週 : 動物寄生虫学⑩・まとめ	第28週 : まとめ（試験対策）			第14週 : 免疫学の基礎と応用①	第29週 : まとめ（試験対策）			第15週 : 免疫学の基礎と応用②	第30週 : まとめ（試験対策）		
第1週 : 微生物の分類と特徴	第16週 : 動物感染症 概論																																																															
第2週 : 微生物検査①	第17週 : 動物感染症①																																																															
第3週 : 微生物検査②	第18週 : 動物感染症②																																																															
第4週 : 動物寄生虫学①	第19週 : 動物感染症③																																																															
第5週 : 動物寄生虫学②	第20週 : 動物感染症④																																																															
第6週 : 動物寄生虫学③	第21週 : 動物感染症⑤																																																															
第7週 : 動物寄生虫学④	第22週 : 動物感染症⑥																																																															
第8週 : 動物寄生虫学⑤・まとめ	第23週 : 動物感染症⑦																																																															
第9週 : 動物寄生虫学⑥	第24週 : 動物感染症⑧																																																															
第10週 : 動物寄生虫学⑦	第25週 : 動物感染症⑨																																																															
第11週 : 動物寄生虫学⑧	第26週 : 動物感染症⑩																																																															
第12週 : 動物寄生虫学⑨	第27週 : 動物感染症まとめ																																																															
第13週 : 動物寄生虫学⑩・まとめ	第28週 : まとめ（試験対策）																																																															
第14週 : 免疫学の基礎と応用①	第29週 : まとめ（試験対策）																																																															
第15週 : 免疫学の基礎と応用②	第30週 : まとめ（試験対策）																																																															
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う																																																															
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%</p>																																																															
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 動物がかかる病気の原因には、細菌・ウイルス・寄生虫などが大きく関わっています。近年は都市で動物を飼養しているため、寄生虫感染症は減少している一方で、動物同士で感染する細菌やウイルスによる感染症はまだまだ多く見られます。各病気で覚えることが多くあるので、しっかりと理解・復習をしましょう。わからないことがあれば、気軽に積極的に質問してください。</p>																																																															

科目名	担当教員名			学年/学期	対象コース					
公衆衛生学	有賀 典子			3年/(2025年度開講)	全コース					
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外						
必修	60時間	4単位	講義	校内 実務家教員の授業						
実務家教員の経歴	有賀典子・・・昭和60年、獣医師免許取得以来、獣医師として活躍。									
授業概要・目的	<p>【授業概要】 環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。 【授業目的】 公衆衛生を学ぶ事によって、動物と人間の安全な環境を保つことが出来るようになる。</p>									
授業の到達目標	<p>1. 公衆衛生の概要 2. 疫学と疾病予防 3. 環境衛生 4. 食品衛生 以上の内容を理解する。</p>									
授業計画	第1週： 公衆衛生の目的		第16週： 環境衛生							
	第2週： 公衆衛生行政		第17週： 化学物質							
	第3週： 国民衛生の動向		第18週： 放射線による汚染と障害							
	第4週： One Health と獣医療の関係		第19週： 衛生動物							
	第5週： 感染の成立について		第20週： 衛生動物							
	第6週： 疾病・健康障害の発生要因について		第21週： 動物の咬傷							
	第7週： 疾病・健康障害の発生要因について		第22週： 動物の咬傷							
	第8週： 疫学調査法		第23週： 廃棄物の取扱い							
	第9週： 予防疫学		第24週： 食品衛生と食中毒							
	第10週： 予防疫学		第25週： 食品衛生と食中毒							
	第11週： 人獣共通感染症とその対策		第26週： 動物性食品の衛生							
	第12週： 人獣共通感染症とその対策		第27週： 動物性食品の衛生							
	第13週： 狂犬病予防		第28週： 食品衛生管理手法							
	第14週： 狂犬病予防		第29週： 食品衛生管理手法							
	第15週： 環境衛生		第30週： 食品衛生管理手法							
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う									
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>									
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 人と動物の安全な生活を維持するために、公衆衛生は欠かせません。難しい部分もありますが、愛玩動物看護師として社会貢献するためにとても大切な分野です。積極的に質問を行ってください。一緒に頑張りましょう</p>									

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																														
動物内科看護学	岡島 優		2年/(2024年度開講)	全コース																														
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																														
必修	90時間	6単位	講義	校内 実務家教員の授業																														
実務家教員の経歴	岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ																																	
授業概要・目的	<p>【授業概要】 内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。</p> <p>【授業目的】 獣医師の診断や治療を正しく理解し、診察補助、検査、看護ができるようになる。</p>																																	
授業の到達目標	1.健康の保持・増進 2.診療補助に必要な技術 3.検査・処置に必要な技術 4.投薬に関わる技術 5.輸液に関わる技術 6.輸血に関わる技術 7.心電図と血圧に関わる技術 8.X線検査とCT/MRIに関わる技術 9.超音波検査に関わる技術 10.内視鏡検査に関わる技術 11.神経学的検査に関わる技術 12.眼科検査に関わる技術 13.皮膚と耳の検査に関わる技術 以上の内容を理解する。																																	
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 : 健康の保持・増進</td> <td>第16週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術②</td> </tr> <tr> <td>第2週 : 診療補助に必要な技術①</td> <td>第17週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術③</td> </tr> <tr> <td>第3週 : 診療補助に必要な技術②</td> <td>第18週 : 超音波検査に関わる技術①</td> </tr> <tr> <td>第4週 : 検査・処置に必要な技術①</td> <td>第19週 : 超音波検査に関わる技術②</td> </tr> <tr> <td>第5週 : 検査・処置に必要な技術②</td> <td>第20週 : 神経学的検査に関わる技術①</td> </tr> <tr> <td>第6週 : 投薬に関わる技術①</td> <td>第21週 : 神経学的検査に関わる技術②</td> </tr> <tr> <td>第7週 : 投薬に関わる技術②</td> <td>第22週 : 神経学的検査に関わる技術③</td> </tr> <tr> <td>第8週 : 輸液に関わる技術①</td> <td>第23週 : 神経学的検査に関わる技術④</td> </tr> <tr> <td>第9週 : 輸液に関わる技術②</td> <td>第24週 : 眼科検査に関わる技術①</td> </tr> <tr> <td>第10週 : 輸血に関わる技術①</td> <td>第25週 : 眼科検査に関わる技術②</td> </tr> <tr> <td>第11週 : 輸血に関わる技術②</td> <td>第26週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術①</td> </tr> <tr> <td>第12週 : 心電図と血圧に関わる技術①</td> <td>第27週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術②</td> </tr> <tr> <td>第13週 : 心電図と血圧に関わる技術②</td> <td>第28週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術③</td> </tr> <tr> <td>第14週 : 心電図と血圧に関わる技術③</td> <td>第29週 : まとめ</td> </tr> <tr> <td>第15週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術①</td> <td>第30週 : まとめ</td> </tr> </table>				第1週 : 健康の保持・増進	第16週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術②	第2週 : 診療補助に必要な技術①	第17週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術③	第3週 : 診療補助に必要な技術②	第18週 : 超音波検査に関わる技術①	第4週 : 検査・処置に必要な技術①	第19週 : 超音波検査に関わる技術②	第5週 : 検査・処置に必要な技術②	第20週 : 神経学的検査に関わる技術①	第6週 : 投薬に関わる技術①	第21週 : 神経学的検査に関わる技術②	第7週 : 投薬に関わる技術②	第22週 : 神経学的検査に関わる技術③	第8週 : 輸液に関わる技術①	第23週 : 神経学的検査に関わる技術④	第9週 : 輸液に関わる技術②	第24週 : 眼科検査に関わる技術①	第10週 : 輸血に関わる技術①	第25週 : 眼科検査に関わる技術②	第11週 : 輸血に関わる技術②	第26週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術①	第12週 : 心電図と血圧に関わる技術①	第27週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術②	第13週 : 心電図と血圧に関わる技術②	第28週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術③	第14週 : 心電図と血圧に関わる技術③	第29週 : まとめ	第15週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術①	第30週 : まとめ
第1週 : 健康の保持・増進	第16週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術②																																	
第2週 : 診療補助に必要な技術①	第17週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術③																																	
第3週 : 診療補助に必要な技術②	第18週 : 超音波検査に関わる技術①																																	
第4週 : 検査・処置に必要な技術①	第19週 : 超音波検査に関わる技術②																																	
第5週 : 検査・処置に必要な技術②	第20週 : 神経学的検査に関わる技術①																																	
第6週 : 投薬に関わる技術①	第21週 : 神経学的検査に関わる技術②																																	
第7週 : 投薬に関わる技術②	第22週 : 神経学的検査に関わる技術③																																	
第8週 : 輸液に関わる技術①	第23週 : 神経学的検査に関わる技術④																																	
第9週 : 輸液に関わる技術②	第24週 : 眼科検査に関わる技術①																																	
第10週 : 輸血に関わる技術①	第25週 : 眼科検査に関わる技術②																																	
第11週 : 輸血に関わる技術②	第26週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術①																																	
第12週 : 心電図と血圧に関わる技術①	第27週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術②																																	
第13週 : 心電図と血圧に関わる技術②	第28週 : 皮膚と耳の検査に関わる技術③																																	
第14週 : 心電図と血圧に関わる技術③	第29週 : まとめ																																	
第15週 : X線検査とCT/MRIに関わる技術①	第30週 : まとめ																																	
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う																																	
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%																																	
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 実務をするうえでとても大切な授業です。動物内科看護学実習にも役に立つ授業です。わからないことは積極的に質問してください。</p>																																	

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース		
動物外科看護学	小嶋 知久佐		3年/(2025年度開講)	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外		
必修	60時間	4単位	講義	校内 実務家教員の授業		
実務家教員の経歴	小嶋 知久佐...動物病院で動物看護師として勤務。その後看護師資格を取得し三次救急医療病院にて勤務。愛玩動物看護師資格取得。					
授業概要・目的	<p>【授業概要】 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。</p> <p>【授業目的】 周術期を学ぶことで安全な手術実施ができるようになると共に、緊急時にも落ち着いて対処できるようになる。</p>					
授業の到達目標	<p>1. 外傷、創傷管理 2. 術前準備 3. 麻酔 4. 術中補助 5. 術後管理 6. 救急救命 7. 動物理学療法</p> <p>以上の内容を理解する。</p>					
授業計画	第1週 : 外傷、創傷管理		第16週 : 術後管理②			
	第2週 : 骨折・脱臼の管理		第17週 : 術後管理③			
	第3週 : 術前準備 ①		第18週 : 術後管理④			
	第4週 : 術前準備 ②		第19週 : 術後管理⑤			
	第5週 : 術前準備 ③		第20週 : 救急救命①			
	第6週 : 麻酔①		第21週 : 救急救命②			
	第7週 : 麻酔②		第22週 : 救急救命③			
	第8週 : 麻酔③		第23週 : 救急救命④			
	第9週 : 麻酔④		第24週 : 救急救命⑤			
	第10週 : 麻酔⑤		第25週 : 救急救命⑥			
	第11週 : 術中補助 ①		第26週 : 動物理学療法①			
	第12週 : 術中補助 ②		第27週 : 動物理学療法②			
	第13週 : 術中補助 ③		第28週 : 動物理学療法③			
	第14週 : 術中補助 ④		第29週 : 動物理学療法④			
	第15週 : 術後管理①		第30週 : 動物理学療法⑤			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う					
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%</p>					
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 外科処置は内科処置とともに動物病院では主要な処置です。しかし、生命にかかわる処置もあります。正しく周術期を理解し、動物外科看護実習につなげましょう。</p>					

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物臨床看護学総論	伊早坂 ゆかり		2年/(2024年度 開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	伊早坂 ゆかり...大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。</p> <p>【授業目的】 看護対象動物の個別性を理解し、治療に関わるチームと連携して系統的に看護を行うようになる。</p>			
授業の到達目標	1. 動物看護過程の展開 2. 診療記録 3. 動物看護業務 4. ターミナルケアに関わる技術 以上の内容を理解する。			
授業計画	第1週 : 動物看護過程の展開① 第2週 : 動物看護過程の展開② 第3週 : 動物看護過程の展開③ 第4週 : 動物看護過程の展開④ 第5週 : 診療記録① 第6週 : 診療記録② 第7週 : 動物看護業務 ① 第8週 : 動物看護業務 ② 第9週 : 動物看護業務 ③ 第10週 : 動物看護業務 ④ 第11週 : 動物看護業務 ⑤ 第12週 : ターミナルケアに関わる技術① 第13週 : ターミナルケアに関わる技術② 第14週 : ターミナルケアに関わる技術③ 第15週 : ターミナルケアに関わる技術④			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第5巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 動物看護過程が正しくできるようになると感覚的ではなく、系統的なチーム医療につながっていきます。様々なケースに合わせて看護が行えるようになります。自分で考える力も必要になりますので、自分の意見を積極的に出してください。みんなで協力して治療に取り組めるようになります。</p>			

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース		
動物臨床看護学各論	青木 麻衣子		2年/(2024年度開講)	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外		
必修	120時間	8単位	講義	校内 実務家教員の授業		
実務家教員の経歴	青木 麻衣子...動物病院で動物看護師として長年動物医療に従事する。現在、獣医神経病クリニックにて動物看護師として活躍中の愛玩動物看護師。					
授業概要・目的	<p>【授業概要】 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。</p> <p>【授業目的】 看護対象動物の病態を理解したうえで、看護を行うことが出来るようになる。</p>					
授業の到達目標	<p>1. 微候や疾患の理解と対処 2. 代表的な微候 3. 代表的な疾患 4. 担がん動物の看護 以上の内容を理解する。</p>					
授業計画	第1週： 微候や疾患の理解と対処		第16週： 眼疾患			
	第2週： 代表的な微候①		第17週： 造血器・免疫介在性疾患①			
	第3週： 代表的な微候②		第18週： 造血器・免疫介在性疾患②			
	第4週： 循環器疾患①		第19週： 造血器・免疫介在性疾患③			
	第5週： 循環器疾患②		第20週： 交通事故、感電、熱傷			
	第6週： 呼吸器疾患		第21週： 熱中症、中毒			
	第7週： 消化器・栄養代謝性疾患①		第22週： 誤飲、ショック、アナフィラキシー			
	第8週： 消化器・栄養代謝性疾患②		第23週： がんの診断のための検査と治療の手順			
	第9週： 泌尿器疾患		第24週： 腫瘍随伴症候群			
	第10週： 内分泌疾患		第25週： がんの治療を受けている動物の看護援助①			
	第11週： 生殖器疾患		第26週： がんの治療を受けている動物の看護援助②			
	第12週： 整形外科疾患		第27週： 担がん動物の治療と化学療法の副作用③			
	第13週： 皮膚疾患①		第28週： 担がん動物の治療と化学療法の副作用④			
	第14週： 皮膚疾患②		第29週： 担がん動物の治療と化学療法の副作用⑤			
	第15週： 神経疾患		第30週： まとめ			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第5巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う					
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%</p>					
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 疾患についての授業ですので、覚えることが多いです。動物形態機能学で学んだ正常を理解したうえで受講するとわかりやすいです。1年次の復習もしながら進めていきますので、積極的に授業に参加してください。</p>					

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物臨床検査学	岡島 優		1年/前期	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。</p> <p>【授業目的】 臨床検査の知識を身につけ、検体・測定機器の扱いを行えるようにする。</p>			
授業の到達目標	1. 臨床検査の基礎 2. 血液検査 3. 尿検査 4. 粪便検査 5. 細胞診と病理組織検査 6. 遺伝子検査 以上の内容を理解する。			
授業計画	第1週： 臨床検査における愛玩動物看護師の役割・意味 第2週： 基準値、感度、特異度、精度管理 第3週： 検体採取法（血液、尿、便、粘膜、スワブ、体表組織など） 第4週： 血漿と血清の分離法 第5週： 全血球計算法（CBC） 第6週： 血液塗抹の作製法・観察法 第7週： ヘマトクリット管を用いた検査 第8週： 凝固検査の目的・意義 第9週： 血液化学検査の目的・意義 第10週： 血液ガス検査の目的・意義 第11週： 免疫学的検査の目的・意義 第12週： 尿の性状検査 尿沈渣 第13週： 虫卵・原虫の検出法 細菌の観察法 第14週： 細胞診断の目的・方法 病理組織検査検体の取扱い 第15週： 遺伝子検査の目的・応用 遺伝子検体の採取と取扱い			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末テスト 100%			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 臨床検査学は、愛玩動物看護師の仕事のひとつです。目的や方法が理解できていないと、スムーズで適切な検査が行えません。信頼される看護師を目指すためにも、一緒に頑張りましょう。</p>			

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物医療コミュニケーション	篠田 恵利		2年/(2024年度 開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	篠田恵利...動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアロマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター・キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。</p> <p>【授業目的】 飼主及び院内スタッフとのコミュニケーションを学び、チーム医療の一員として看護できるようになる。</p>			
授業の到達目標	1. クライアントエデュケーション 2. 院内コミュニケーション 3. 院内業務 以上の内容を理解する。			
授業計画	第1週 : クライアントエデュケーション① 第2週 : クライアントエデュケーション② 第3週 : クライアントエデュケーション③ 第4週 : クライアントエデュケーション④ 第5週 : クライアントエデュケーション⑤ 第6週 : 院内コミュニケーション① 第7週 : 院内コミュニケーション② 第8週 : 院内コミュニケーション③ 第9週 : 院内コミュニケーション④ 第10週 : 院内業務 ① 第11週 : 院内業務 ② 第12週 : 院内業務 ③ 第13週 : 院内業務 ④ 第14週 : 院内業務 ⑤ 第15週 : まとめ			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第5巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 チーム医療を行う中で、コミュニケーションは欠かせないものです。よりよい獣医療を提供するためにもしっかり授業に参加してください。</p>			

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース	
愛玩動物学	高橋 藍 / 熊谷 真美	1年/後期	全コース	
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	60時間	4単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	高橋藍・・・動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナー・チャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルリストプロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。 熊谷真美…シナウザーのトリミングを得意とし、平成15年よりトリマー教員として勤務。JDA認定トリマー1級、ペットエステティシャンゴールドクラス取得。キャットマイスター認定講師。			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。</p> <p>【授業目的】 生命倫理と動物福祉について学び、正しく動物に接する事が出来るようになる。</p>			
授業の到達目標	【熊谷 真美】 1. 猫の歴史と品種 2. 猫の飼養管理 3. 猫の基本的な取扱い 4. 猫の繁殖・販売 以上の内容を理解する。	【高橋 藍】 1. 歴史と品種 2. 使役動物 3. 愛玩動物の飼養管理 4. 動物の基本的な取扱い 以上の内容を理解する。		
授業計画	【熊谷 真美】 第1週： 猫のさまざまな目の色、歴史、3つの品種発生パターン	【高橋 藍】 第1週： 犬の歴史・品種、活用と被毛の手入れ		
	第2週： 猫の身体のつくり①(部位・骨格・内蔵・筋肉・歯列)	第2週： 猫の歴史・品種、活用と被毛の手入れ		
	第3週： 猫の身体のつくり②(目・耳・体型・被毛・毛色)	第3週： エキゾチック動物の種類・特徴・生態		
	第4週： 猫の健康管理	第4週： 血統と血統書		
	第5週： 猫病気の基礎知識①(主な病気)	第5週： 使役動物(犬、その他の動物)の歴史・福祉		
	第6週： 猫の病気の基礎知識②(遺伝疾患・ズーノーシス・ワクチン)	第6週： 補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)の歴史・現状		
	第7週： 猫の習性とボディー・ランゲージ	第7週： 補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)の役割・育成・適性		
	第8週： 猫の選び方と飼い方	第8週： その他の使役犬(災害救助犬、警察犬、麻薬探知犬、検疫探知犬など)の種類・特徴・現状		
	第9週： 猫の問題行動	第9週： 犬の適切な飼養管理方法(飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢、社会化訓練など)		
	第10週： 遺伝と繁殖	第10週： 猫の適切な飼養管理方法(飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢など)		
	第11週： 猫のグルーミング	第11週： 愛玩鳥の適切な飼養管理方法(飼養環境、体調管理など)		
	第12週： ペットショップにおいて(生体販売編)	第12週： エキゾチック動物(ウサギ、ハムスターなど)の適切な飼養管理方法(飼養上の特徴、飼養環境、体調管理など)		
	第13週： ペットショップにおいて(ペットホテル編)	第13週： 動物を安全に散歩・運動させることの意義		
	第14週： 猫学のまとめ①	第14週： グルーミング(シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門囊処置、口腔内衛生管理などの目的・方法)		
	第15週： 猫学のまとめ②	第15週： 適切な飼養環境とストレスの緩和方法		
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第6巻 愛玩・適正飼養学』株式会社緑書房、『Text Book of Cat Meister』一般社団法人全国キャットクラブ、その他適宜プリント配布を行う			
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①高橋期末テスト50%</p> <p>②熊谷期末テスト50%</p>			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 高橋 藍…犬や猫などの動物がどう伴侶動物になったのか、伴侶動物の歴史、品種、被毛の手入れなどについて学習し、診察時の円滑なコミュニケーションや飼い主へのアドバイスにつなげられるよう学んでいきましょう 熊谷 真美…愛玩動物が健康に生活する為には適切な飼養環境と衛生管理が必要です。愛玩動物に関する基礎的な取り扱いから、看護のポイントまで幅広く学習します。飼い主様へ適切な指導が行える愛玩動物看護師を目指して一緒に頑張りましょう。</p>			

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
人と動物の関係学	岡島 優		1年/前期	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。</p> <p>【授業目的】 人と動物の深い絆、人間社会においての役割やその背景と歴史についてを理解する。</p>			
授業の到達目標	1. 人間と動物の関わり 2. 人間の福祉と愛玩動物の関わり 3. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 以上の内容を理解する。			
授業計画	<p>第1週： 飼養・利用の歴史</p> <p>第2週： 動物観、動物との関り方の欧米と日本との相違</p> <p>第3週： 飼養・利用の現状</p> <p>第4週： 動物虐待と対人暴力</p> <p>第5週： 多頭飼育問題</p> <p>第6週： 動物の飼養・利用の現状</p> <p>第7週： 愛玩動物が子供や高齢者に与える恩恵、飼養困難になる様々な事情</p> <p>第8週： 動物が人間に与える身体的・心理的影響①</p> <p>第9週： 動物が人間に与える身体的・心理的影響②</p> <p>第10週： 動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の目的・内容④</p> <p>第11週： 動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適正、行動学的適正</p> <p>第12週： 動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育に対する獣医師と愛玩動物看護師の関わり①</p> <p>第13週： 動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育に対する獣医師と愛玩動物看護師の関わり②</p> <p>第14週： 道徳教育の一環としての学校飼育動物の飼育の目的・実態、愛玩動物看護師の関わり①</p> <p>第15週： 道徳教育の一環としての学校飼育動物の飼育の目的・実態、愛玩動物看護師の関わり②</p>			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第6巻 愛玩・適正飼養学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 期末試験100%</p>			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 愛玩動物は家族の一員であり、人生をともにするパートナーとして家庭の多くで飼育されています。この人と動物との深い絆を理解し、動物が人間社会で果たしている役割と歴史について学び、愛玩動物看護師として動物の看護のあり方に活かせるようにしましょう。</p>			

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース		
適正飼養指導論	伊早坂 ゆかり		3年/(2025年度開講)	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外		
必修	60時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業		
実務家教員の経歴	伊早坂 ゆかり...大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。					
授業概要・目的	<p>【授業概要】 愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。</p> <p>【授業目的】 愛玩動物が人と暮らすまでの経緯や飼育のメリット・デメリット、ペットロスについて理解する。 ペット飼育の現状と問題点を理解し、適正飼養の基準や方法を理解する。 災害獣医療の基礎・愛玩動物看護師の役割を理解する。 保健所や動物愛護センターにおける犬や猫の・処分状況、動物取扱業における動物取扱責任者の任用、動物愛護管理行政を理解する。</p>					
授業の到達目標	<p>1. 愛玩動物の飼養 2. 適正飼養の推進 3. 災害危機管理と支援 4. 動物愛護管理行政 以上の内容を理解する。</p>					
授業計画	第1週 : 愛玩動物の適正飼養の目的、概念	第16週 : 災害獣医療の概要				
	第2週 : 愛玩動物飼養の現状	第17週 : 災害時における愛玩動物看護師の役割				
	第3週 : 愛玩動物飼養によって人間が受けける影響と問題点	第18週 : 災害時における愛玩動物看護師の役割				
	第4週 : 愛玩動物の飼養のニーズや目的	第19週 : 災害時における愛玩動物看護師の役割				
	第5週 : グリーフケア、ペットロス	第20週 : 公衆衛生業務				
	第6週 : 適正飼養に関する支援の目的と活動	第21週 : 公衆衛生業務				
	第7週 : 動物取扱業者における適正飼養	第22週 : 動物愛護週間の役割と実施状況				
	第8週 : 愛玩動物の過剰繁殖の問題	第23週 : 犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況				
	第9週 : 問題行動予防	第24週 : 犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況				
	第10週 : 災害時の同行避難	第25週 : 動物による事故の内容と報告状況				
	第11週 : 災害時の同行避難	第26週 : 動物による事故の内容と報告状況				
	第12週 : 災害時の同行避難	第27週 : 動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割				
	第13週 : 災害の備え	第28週 : 動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割				
	第14週 : 災害の備え	第29週 : 動物取扱責任者の選任条件と役割				
	第15週 : 災害獣医療の概要	第30週 : まとめ				
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第6巻 愛玩・適正飼養学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う					
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>					
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 愛玩動物を適正に飼育するために必要な知識はもちろん、災害などの非常時にも対応できるようになるための授業です。『もしも』に備えて一緒に考え、学んでいきましょう。</p>					

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物生活環境学	高橋 藍		1年/後期	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナー・チャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルブロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼育環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスク除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。</p> <p>【授業目的】 ペットと共生するありかたを理解し、愛玩動物看護師の業務に役立てられるようにする。</p>			
授業の到達目標	1. 飼養環境整備 2. ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 3. 保護収容施設 4. ペットへの教育・訓練施設 5. 動物介在教育施設 6. ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 以上の内容を理解する。			
授業計画	第1週： 動物行動学を踏まえた人と愛玩動物のための飼養環境整備の必要性・方法 第2週： ペット共生住宅の現状と環境整備・管理の方法 第3週： ペットツーリズムの現状と実施方法 第4週： ペット同伴宿泊ホテルの環境整備・管理の方法 第5週： ドッグランの環境整備・管理の方法 第6週： 愛玩動物関連イベント活動の企画運営と地域振興 第7週： 動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理の方法、シェルターメディシン 第8週： 動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓発活動 第9週： 動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等 第10週： 学校飼育動物等の施設の環境整備・管理の方法 第11週： 飼育マナーの必要性・目的 第12週： 飼育マナーの歴史、地域による違い 3) 地方自治体における飼育マナーに関する条例 第13週： 地方自治体における飼育マナーに関する条例 第14週： 愛玩動物の種類ごとの飼育マナー 第15週： ペット保険の仕組み・実態			
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第6巻 愛玩・適正飼養学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 動物の行動学を踏まえた飼養環境設整備の必要性とその方法について、ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法を学びましょう。</p>			

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																														
ペット関連産業概論	野口 哲		1年/前期	全コース																														
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																														
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業																														
実務家教員の経歴	野口哲...実家がペットショップという環境だったので、幼少よりトリマー・ブリーダー・トレーナー・ハンドラーとして活躍。 平成8年～ペットショップを経営。平成15年～学校法人を経営。平成25年～ペット業界各団体の役員としても活躍。																																	
授業概要・目的	<p>【授業概要】 ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。</p> <p>【授業目的】 職業倫理・行動倫理を理解し、動物取扱責任者として行動できるようになる。</p>																																	
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む） 2. ペットの飼養実態と市場規模 3. 各ペット関連産業の現状と課題 4. 動物取扱業 以上の内容を理解する。 																																	
授業計画	<table border="0"> <tr><td>第1週 :</td><td>責任と社会的役割</td></tr> <tr><td>第2週 :</td><td>商取引における関連法規の概要</td></tr> <tr><td>第3週 :</td><td>動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明</td></tr> <tr><td>第4週 :</td><td>ペットの飼養実態</td></tr> <tr><td>第5週 :</td><td>ペットの飼養実態と市場規模</td></tr> <tr><td>第6週 :</td><td>ペット関連産業の概要・市場規模</td></tr> <tr><td>第7週 :</td><td>ペット産業の分類</td></tr> <tr><td>第8週 :</td><td>動物病院の現状</td></tr> <tr><td>第9週 :</td><td>動物病院以外のサービス業の現状</td></tr> <tr><td>第10週 :</td><td>生体販売業・ペットショップの現状・その他ペット産業の現状</td></tr> <tr><td>第11週 :</td><td>動物取扱業の概要</td></tr> <tr><td>第12週 :</td><td>動物取扱業者の規制①</td></tr> <tr><td>第13週 :</td><td>動物取扱業者の規制②</td></tr> <tr><td>第14週 :</td><td>動物取扱責任者①</td></tr> <tr><td>第15週 :</td><td>動物取扱責任者②</td></tr> </table>				第1週 :	責任と社会的役割	第2週 :	商取引における関連法規の概要	第3週 :	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明	第4週 :	ペットの飼養実態	第5週 :	ペットの飼養実態と市場規模	第6週 :	ペット関連産業の概要・市場規模	第7週 :	ペット産業の分類	第8週 :	動物病院の現状	第9週 :	動物病院以外のサービス業の現状	第10週 :	生体販売業・ペットショップの現状・その他ペット産業の現状	第11週 :	動物取扱業の概要	第12週 :	動物取扱業者の規制①	第13週 :	動物取扱業者の規制②	第14週 :	動物取扱責任者①	第15週 :	動物取扱責任者②
第1週 :	責任と社会的役割																																	
第2週 :	商取引における関連法規の概要																																	
第3週 :	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明																																	
第4週 :	ペットの飼養実態																																	
第5週 :	ペットの飼養実態と市場規模																																	
第6週 :	ペット関連産業の概要・市場規模																																	
第7週 :	ペット産業の分類																																	
第8週 :	動物病院の現状																																	
第9週 :	動物病院以外のサービス業の現状																																	
第10週 :	生体販売業・ペットショップの現状・その他ペット産業の現状																																	
第11週 :	動物取扱業の概要																																	
第12週 :	動物取扱業者の規制①																																	
第13週 :	動物取扱業者の規制②																																	
第14週 :	動物取扱責任者①																																	
第15週 :	動物取扱責任者②																																	
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第6巻 愛玩・適正飼養学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う																																	
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>																																	
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 かなり専門的な授業になります。ペット業界で働くための基礎知識になりますので、この授業が理解できないと非常識なプロになってしまい、お客様にご迷惑をおかけしてしまいます。最初は理解が追いつかなくても、休まず受講していれば理解できるようになりますので、頑張りましょう！</p>																																	

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物形態機能学実習	岡島 優		1年/前期	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	30時間	1単位	実習	校内 実務家教員の授業
実務家教員の経歴	岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。</p> <p>【授業目的】 ・看護の基礎である、形態機能学を実習を通して実践的に理解する。 ・顕微鏡の使い方を理解できるようにする。</p>			
授業の到達目標	<p>1. 運動器 2. 内臓器官 3. 顕微鏡の取扱い 4. 組織像の観察 以上の内容を理解する。</p>			
授業計画	第1週： 骨格の構成			
	第2週： 骨の形状・構造			
	第3週： 関節の構造・機能			
	第4週： 骨格筋①			
	第5週： 骨格筋②			
	第6週： 骨格筋③			
	第7週： 内臓器官①			
	第8週： 内臓器官②			
	第9週： 内臓器官③			
	第10週： 顕微鏡の取扱い①			
	第11週： 顕微鏡の取扱い②			
	第12週： 顕微鏡の取扱い③			
	第13週： 組織像の観察①			
	第14週： 組織像の観察②			
	第15週： 組織像の観察③			
教科書・参考書等	『動物看護実習テキスト』 株式会社インターナー、そのほか適宜プリント配布を行う			
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>			
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 動物形態機能学は、生命の維持や動物の体の構成を学ぶための重要な分野です。全身の構造や機能に触れるため、覚えることが多いですが、その一方で、今後の授業を理解していくために必須の知識がたくさん詰まっています。何度も何度も復習をして、覚えていきましょう。わかりやすく・覚えやすくなるよう心がけていきますので、一緒に頑張っていきましょう。わからないことがあれば、気軽に積極的に質問してください。</p>			

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース				
動物内科看護学実習	小山田 尚 / 高橋 藍	1年/通年	全コース				
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
必修	60時間	2単位	実習	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	小山田 尚…獣医師、鍼灸師。1989年 エル動物病院開院し、現代医学と中医学を併用し活躍する。日本獣医中医薬学院 講師。 高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナー・チャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルリストプロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。						
授業概要・目的	<p>【授業概要】 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>【授業目的】 實際の動物病院での内科診療時に、適切な行動ができるようになる。</p>						
授業の到達目標	<p>1. 身体検査 2. 診察補助 3. 輸液に関わる技術 4. 生体検査 以上の内容を理解する。</p>						
授業計画	第1週 : 健康診断の内容・目的	第16週 : 外用薬の使用法、薬浴の実施法①					
	第2週 : 診察における愛玩動物看護師の役割	第17週 : 外用薬の使用法、薬浴の実施法②					
	第3週 : 診察室の準備と衛生管理	第18週 : 投薬前後の注意事項					
	第4週 : 動物種ごとの適切な接し方	第19週 : 輸液の適用とリスク					
	第5週 : 保定の原理・目的・方法①	第20週 : 輸液計画					
	第6週 : 保定の原理・目的・方法②	第21週 : 各種輸液剤の特性と適用①					
	第7週 : 保定の原理・目的・方法③	第22週 : 各種輸液剤の特性と適用②					
	第8週 : 身体検査とアセスメント項目① (全身状態の確認)	第23週 : 各種輸液剤の特性と適用③					
	第9週 : 身体検査とアセスメント項目② (犬と猫のバイタルサイン)	第24週 : 輸液中のモニタリング					
	第10週 : 身体検査とアセスメント項目③ (聴診法)	第25週 : 心電図検査の目的・意義					
	第11週 : 身体検査とアセスメント項目④ (各器官系の評価)	第26週 : 心電図検査の実施方法①					
	第12週 : 身体検査とアセスメント項目⑤ (子犬と子猫の全身評価)	第27週 : 心電図検査の実施方法②					
	第13週 : 薬の処方	第28週 : 心電図検査の実施方法③					
	第14週 : 内服薬の使用法	第29週 : 血圧測定の方法・意義・注意点①					
	第15週 : 薬剤の注射法	第30週 : 血圧測定の方法・意義・注意点②					
教科書・参考書等	『動物看護実習テキスト』 株式会社インターブー、『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』 株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う						
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 動物内科学看護学実習では、動物内科看護学で学んだ内容のさらなる理解するために、実際の動物病院における業務を実践します。動物病院では、どのような業務を実際に行なっているのか、どのように行動すればいいのかを理解し、習得することが目的です。みなさんが自信を持って、業務を行えるように実習を行なっていく予定です。わからないことがあれば、気軽に積極的に質問してくださいね。</p>						

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース		
動物内科看護学実習	小山田 尚 / 伊早坂 ゆかり 小嶋 知久佐	2年/(2025年度 開講)	動物看護コース ナーシングトリマーコース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式		
必修	60時間	2単位	実習 校内 実務家教員の授業		
実務家教員の経歴	小山田 尚...獣医師、鍼灸師。1989年 エル動物病院開院し、現代医学と中医学を併用し活躍する。日本獣医中医薬学院 講師。 伊早坂 ゆかり...大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。 小嶋 知久佐...動物病院で動物看護師として勤務。その後看護師資格を取得し三次救急医療病院にて勤務。愛玩動物看護師資格取得。				
授業概要・目的	<p>【授業概要】 内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>【授業目的】 実際の動物病院での内科診療時に、適切な行動ができるようになる。</p>				
授業の到達目標	1. 身体検査 2. 診察補助 3. 輸液・輸血に関わる技術 4. マイクロチップに関わる技術 5. 生体検査 以上の内容を理解する。				
授業計画	第1週 : 診察補助（診察の準備や診察室の衛生管理）	第16週 : 輸血②			
	第2週 : 診察補助（保定）	第17週 : 診察補助 マイクロチップ			
	第3週 : 診察補助（聴診器・体温計・注射器の扱い）	第18週 : X線撮影			
	第4週 : 採尿①	第19週 : 診察補助 放射線防護			
	第5週 : 診察補助 採尿②	第20週 : 超音波検査①			
	第6週 : 採血①	第21週 : 診察補助 超音波検査②			
	第7週 : 診察補助 採血②	第22週 : 神経学的検査①			
	第8週 : 薬剤の取扱い	第23週 : 診察補助 神経学的検査②			
	第9週 : 診察補助 注射の手順①	第24週 : 眼科検査①			
	第10週 : 注射の手順②	第25週 : 診察補助眼科検査②			
	第11週 : 診察補助 留置針設置①	第26週 : 皮膚検査①			
	第12週 : 留置針設置②	第27週 : 診察補助皮膚検査②			
	第13週 : 診察補助 輸液ポンプ、シリンジポンプ①	第28週 : 外耳道検査①			
	第14週 : 輸液ポンプ、シリンジポンプ②	第29週 : 診察補助まとめ			
	第15週 : 診察補助 輸血①	第30週 : まとめ			
教科書・参考書等	『動物看護実習テキスト』 株式会社インターナー、『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』 株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う				
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%				
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。また、診察の状況に応じて、内容が前後することもありますので、ご了承ください。</p> <p>【メッセージ】 動物内科学看護学実習では、動物内科看護学で学んだ内容のさらなる理解するために、実際の動物病院における業務を実践します。動物病院では、どのような業務を実際に行なっているのか、どのように行動すればいいのかを理解し、習得することが目的です。みなさんが自信を持って、業務を行えるように実習を行なっていく予定です。わからないことがあれば、気軽に積極的に質問してくださいね。</p>				

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース		
動物外科看護学実習	江ヶ崎 友 / 高橋 藍		3年/(2025年度開講)	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外		
必修	90時間	3単位	実習	校内 実務家教員の授業		
実務家教員の経歴	<p>高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナーチャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルブロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。</p> <p>江ヶ崎友…1次・2次診療の動物病院にて10年勤務。2次診療の専門医療では、病理科の技師として勤務。</p> <p>愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士2級、ペット栄養管理士取得、ペットマッサージ・セラピスト、APRIA(動物理学リハビリ国際協会)認定プラクティショナー資格取得、テネシー大学公認動物リハビリテーション資格CCRP (Certified Canine Rehabilitation Practitioner)受講。</p>					
授業概要・目的	<p>【授業概要】 手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>【授業目的】 周術期の看護を行うことが出来ると共に、緊急事態にも対処できるようになる。</p>					
授業の到達目標	<p>1. 術前準備 2. 術中補助 3. 術後管理 4. 救急救命 以上の内容を理解する。</p>					
授業計画	第1週： 手術器具の準備、滅菌		第16週： 歯科処置			
	第2週： 手術衣、タオル・ドレープ類の準備・滅菌		第17週： 術後の創傷管理①			
	第3週： 手術に必要な機器、器械台の準備		第18週： 術後の創傷管理②			
	第4週： 手術台への動物の固定、術野の消毒		第19週： 包帯の装着①			
	第5週： 手洗い、手術衣や手袋の装着		第20週： 包帯の装着②			
	第6週： 麻酔器の各部名称や使用法		第21週： 必要な機材、薬剤を迅速に準備できる①			
	第7週： モニター機器の接続		第22週： 必要な機材、薬剤を迅速に準備できる②			
	第8週： モニター機器の術中監視		第23週： 必要な機材、薬剤を迅速に準備できる③			
	第9週： 麻酔記録①		第24週： 気管挿管を補助できる①			
	第10週： 麻酔記録②		第25週： 気管挿管を補助できる②			
	第11週： 直接補助①		第26週： 心肺蘇生①			
	第12週： 直接補助②		第27週： 心肺蘇生②			
	第13週： 間接補助①		第28週： 心肺蘇生③			
	第14週： 間接補助②		第29週： まとめ			
	第15週： 歯科器具①		第30週： まとめ			
教科書・参考書等	『動物看護実習テキスト』 株式会社インターボー、『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う					
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%</p>					
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。また、手術の状況に応じて、内容が前後することがありますが、ご了承ください。</p> <p>【メッセージ】 手術を安全に進めるために、必要な知識・技術を習得します。手術は患者動物の命を人間が預かるものです。どんな簡単な手術でも命の危険があることを認識してチームの一員となれるよう、しっかり学びましょう。また、覚える機器・器具も多いです。わからないことがあつたら気軽に質問してください。</p>					

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース			
動物臨床看護学実習	小嶋 知久佐		2年/(2024年度 開講)	動物看護コース			
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
必修	60時間	2単位	実習	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	小嶋 知久佐...動物病院で動物看護師として勤務。その後看護師資格を取得し三次救急医療病院にて勤務。愛玩動物看護師資格取得。						
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>【授業目的】 動物の看護を行い、動物看護過程や疾患別の看護ができるようになる。</p>						
授業の到達目標	1. 動物看護過程の実践（事例演習） 2. 入院及び栄養管理 以上の内容を理解する。						
授業計画	第1週 : 看護対象動物の個別性を理解する	第16週 : 入院動物の衛生管理					
	第2週 : 看護対象動物の個別性を理解する	第17週 : 痛みの評価					
	第3週 : 看護対象動物の生活環境を知る	第18週 : 痛みの評価					
	第4週 : 看護対象動物の生活環境を知る	第19週 : 栄養管理					
	第5週 : 看護動物及び飼主に及ぼす影響を考える	第20週 : 栄養管理					
	第6週 : 看護動物及び飼主に及ぼす影響を考える	第21週 : 体位変換					
	第7週 : 看護動物の援助内容・方法を考える	第22週 : 体位変換					
	第8週 : 看護動物の援助内容・方法を考える	第23週 : 看護過程・応用					
	第9週 : 動物看護計画の作成	第24週 : 看護過程・応用					
	第10週 : 動物看護計画の作成	第25週 : 看護過程・応用					
	第11週 : 動物看護記録の作成	第26週 : 看護過程・応用					
	第12週 : 動物看護記録の作成	第27週 : 看護過程・応用					
	第13週 : 入院動物のアセスメント	第28週 : 看護過程・応用					
	第14週 : 入院動物のアセスメント	第29週 : 看護過程・応用					
	第15週 : 入院動物の衛生管理	第30週 : 看護過程・応用					
教科書・参考書等	『動物看護実習テキスト』 株式会社インターナー、『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』 株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う						
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 看護が必要な学校動物たちの看護を実際に行います。動物臨床看護学で学んだことを実際の看護に活かしましょう。目の前の動物たちをしっかりと観察し、個々の動物にあった看護ケアができるように、みんなで考え実践していきましょう。</p>						

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース			
動物臨床検査学実習	岡島 優		1年/後期	全コース			
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
必修	60時間	2単位	実習	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ						
授業概要・目的	<p>【授業概要】 検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>【授業目的】 必要な手技、機器の扱いを覚え、実践力を身につける。</p>						
授業の到達目標	<p>検体検査について以下の内容を理解する。</p> <p>1) 検体採取・処理の手順を習得している 2) マイクロピペットや遠心分離器を正しく操作できる 3) 血漿、血清を分離できる 4) 血液塗抹標本を作製、染色できる 5) 血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる 6) 全血球計算及び血液化学検査を実施できる 7) 簡易血清学的検査を実施できる 8) 尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる 9) 尿沈渣を観察し、所見を記録できる 10) 粪便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出できる 11) 細胞診の準備、補助ができる</p>						
授業計画	第1週 : 臨床検査における愛玩動物看護師の役割	第16週 : ヘマトクリット管を用いた検査④					
	第2週 : 基準値、感度、特異度、精度管理①	第17週 : 凝固検査の目的・意義					
	第3週 : 基準値、感度、特異度、精度管理②	第18週 : 血液化学検査の目的・意義					
	第4週 : 検体採取法（血液、尿、便、粘膜、スワブ、体表組織など）①	第19週 : 血液ガス検査の目的・意義					
	第5週 : 検体採取法（血液、尿、便、粘膜、スワブ、体表組織など）②	第20週 : 免疫学的検査の目的・意義					
	第6週 : 血漿と血清の分離法	第21週 : 尿検査①					
	第7週 : 全血球計算法（CBC）①	第22週 : 尿検査②					
	第8週 : 全血球計算法（CBC）②	第23週 : 虫卵・原虫の検出法①					
	第9週 : 血液塗抹の作製法・観察法①	第24週 : 虫卵・原虫の検出法②					
	第10週 : 血液塗抹の作製法・観察法②	第25週 : 細菌の観察法①					
	第11週 : 血液塗抹の作製法・観察法③	第26週 : 細菌の観察法②					
	第12週 : 血液塗抹の作製法・観察法④	第27週 : 細胞診断の目的・方法①					
	第13週 : ヘマトクリット管を用いた検査①	第28週 : 細胞診断の目的・方法②					
	第14週 : ヘマトクリット管を用いた検査②	第29週 : 病理組織検査検体の取扱い①					
	第15週 : ヘマトクリット管を用いた検査③	第30週 : 病理組織検査検体の取扱い②					
教科書・参考書等	『動物看護実習テキスト』 株式会社インターブー、『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』 株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う						
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末テスト 100%</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください</p> <p>【メッセージ】 検体は何度も採取できないことを理解し、十分注意を払う力を身に着けてください。</p>						

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース		
動物愛護・適正飼養実習	高橋 藍		2年/(2024年度 開講)	動物看護コース ナーシングトリマーコース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外		
必修	60時間	2単位	実習	校内 実務家教員の授業		
実務家教員の経歴	高橋藍・・・動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナーチャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルリストブロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。					
授業概要・目的	<p>【授業概要】 動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>【授業目的】 対象動物を適切な飼養管理が出来るようになると共に、飼主に対し適切にアドバイスができるようになる。</p>					
授業の到達目標	1. 動物の基本的な取扱い 2. 飼い主とのコミュニケーション 3. 動物愛護管理行政 以上の内容を理解する。					
授業計画	第1週 : 動物の基本的な取扱い ハンドリング①	第16週 : 動物の基本的な取扱い 飼養管理①				
	第2週 : 動物の基本的な取扱い ハンドリング②	第17週 : 動物の基本的な取扱い 飼養管理②				
	第3週 : 動物の基本的な取扱い 散歩・運動	第18週 : 動物の基本的な取扱い 飼養管理③				
	第4週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング①	第19週 : 動物の基本的な取扱い 飼養管理④				
	第5週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング②	第20週 : 動物の基本的な取扱い 飼養管理⑤				
	第6週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング③	第21週 : 動物の基本的な取扱い 飼養管理⑥				
	第7週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング④	第22週 : 動物の基本的な取扱い 飼養管理⑦				
	第8週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑤	第23週 : 飼い主とのコミュニケーション 品種に応じた飼養方法①				
	第9週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑥	第24週 : 飼い主とのコミュニケーション 品種に応じた飼養方法②				
	第10週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑦	第25週 : 飼い主とのコミュニケーション 品種に応じた飼養方法③				
	第11週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑧	第26週 : 飼い主とのコミュニケーション 品種に応じた飼養方法④				
	第12週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑨	第27週 : 飼い主とのコミュニケーション 飼養困難者への支援				
	第13週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑩	第28週 : 飼い主とのコミュニケーション 災害時の飼主への支援				
	第14週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑪	第29週 : 動物愛護管理行政				
	第15週 : 動物の基本的な取扱い グルーミング⑫	第30週 : 動物愛護管理行政				
教科書・参考書等	『動物看護実習テキスト』 株式会社インターナー、『愛玩動物看護師の教科書 第6巻 愛玩・適正飼養学』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う					
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%					
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください</p> <p>【メッセージ】 動物のケアが正しく行えるようになるだけではなく、飼主に対し適切な飼育管理ができるように指導を行うための授業です。まずは自分ができるようになることが大切です。動物に負担なくケアができるように動物の状態を確認しながら実習に取り組んでください。</p>					

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
動物看護総合実習	高橋 藍		2年/(2024年度 開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	150時間	5単位	実習	校外
授業概要・目的	<p>【授業概要】 實際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>【授業目的】 動物診療施設にて診療業務に参加し、愛玩動物看護師の役割責任について理解したうえで、実務ができるようになる。</p>			
授業の到達目標	<p>1. 動物看護業務の理解 2. 動物看護業務の体験 3. 動物看護業務の実践 以上の内容を理解する。</p>			
授業計画	<p>就職を目指す企業や動物病院のフィールドワークを行い、研修の予約を入れて、実践的に研修を行わせて頂く。 研修後は、お礼状の送付やレポートの提出を行う。 研修期間は、1日8時間換算で合計19日間の研修期間が必要。</p>			
成績評価	<p>(1)単位については次の項目を基準に認定する。 レポートの提出により校長が単位を認定する。</p>			
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 就職を目指す企業や動物病院で研修を行わせて頂くため、失礼が無いように望むことが大切です。 【メッセージ】 研修先の動物病院ごとに特徴的な診察・治療があります。学校で学んだことは基本となるものです。実際の現場で何が求められるのかを肌で感じて卒業後に備えてください。</p>			

科目名	担当教員名			学年/学期	対象コース		
動物看護総合実習	高橋 藍			3年/(2025年度開講)	動物看護コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
必修	30時間	1単位	実習	校外			
授業概要・目的	<p>【授業概要】 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>【授業目的】 動物診療施設にて診療業務に参加し、愛玩動物看護師の役割責任について理解したうえで、実務ができるようになる。</p>						
授業の到達目標	<p>1. 動物看護業務の理解 2. 動物看護業務の体験 3. 動物看護業務の実践 以上の内容を理解する。</p>						
授業計画	<p>就職を目指す企業や動物病院のフィールドワークを行い、研修の予約を入れて、実践的に研修を行わせて頂く。 研修後は、お礼状の送付やレポートの提出を行う。 研修期間は、1日8時間換算で合計4日間の研修期間が必要。</p>						
成績評価	<p>(1)単位については次の項目を基準に認定する。 レポートの提出により校長が単位を認定する。</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 就職を目指す企業や動物病院で研修を行わせて頂くため、失礼が無いように望むことが大切です。 【メッセージ】 研修先の動物病院ごとに特徴的な診察・治療があります。学校で学んだことは基本となるものです。実際の現場で何が求められるのかを肌で感じて卒業後に備えてください。</p>						

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース																															
動物看護総合概論	伊早坂 ゆかり / 岡島 優	3年/(2025年度開講)	全コース																															
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式																															
必修	120時間	4単位	講義 校内 実務家教員の授業																															
実務家教員の経歴	岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ 伊早坂 ゆかり…大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。																																	
授業概要・目的	<p>【授業概要】 1年・2年で学んだ内容の再確認・復習を行い、より深い理解につなげる。</p> <p>【授業目的】 1年生・2年生で学んだ内容で特に重要な分野を復習・再習得し、さらなる理解を深めることで就職後にも役立つ知識を身につけることができる。</p>																																	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次指導内容 ・2年次指導内容 <p>以上の内容を理解する。</p>																																	
授業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">第1週 : 基礎動物学① (生命倫理・動物福祉)</td><td style="padding: 5px;">第16週 : 臨床動物看護学① (動物内科看護学①)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第2週 : 基礎動物学② (動物形態機能学)</td><td style="padding: 5px;">第17週 : 臨床動物看護学② (動物内科看護学②)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第3週 : 基礎動物学③ (動物繁殖学)</td><td style="padding: 5px;">第18週 : 臨床動物看護学③ (動物外科看護学①)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第4週 : 基礎動物学④ (動物行動学)</td><td style="padding: 5px;">第19週 : 臨床動物看護学④ (動物外科看護学②)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第5週 : 基礎動物学⑤ (動物栄養学)</td><td style="padding: 5px;">第20週 : 臨床動物看護学⑤ (動物臨床看護学総論)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第6週 : 基礎動物学⑥ (比較動物学)</td><td style="padding: 5px;">第21週 : 臨床動物看護学⑥ (動物臨床看護学各論①)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第7週 : 基礎動物学⑦ (法規)</td><td style="padding: 5px;">第22週 : 臨床動物看護学⑦ (動物臨床看護学各論②)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第8週 : 基礎動物看護学① (動物看護学概論)</td><td style="padding: 5px;">第23週 : 臨床動物看護学⑧ (動物臨床検査学)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第9週 : 基礎動物看護学② (動物病理学①)</td><td style="padding: 5px;">第24週 : 臨床動物看護学⑨ (動物医療コミュニケーション)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第10週 : 基礎動物看護学③ (動物病理学②)</td><td style="padding: 5px;">第25週 : 愛護・適正飼養学① (愛玩動物学)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第11週 : 基礎動物看護学④ (動物感染症学①)</td><td style="padding: 5px;">第26週 : 愛護・適正飼養学② (人と動物の関係学)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第12週 : 基礎動物看護学⑤ (動物感染症学②)</td><td style="padding: 5px;">第27週 : 愛護・適正飼養学③ (適正飼養指導論)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第13週 : 基礎動物看護学⑥ (公衆衛生学①)</td><td style="padding: 5px;">第28週 : 愛護・適正飼養学④ (動物生活環境学)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第14週 : 基礎動物看護学⑦ (公衆衛生学②)</td><td style="padding: 5px;">第29週 : 愛護・適正飼養学⑤ (ペット関連産業概論)</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第15週 : 前半まとめ</td><td style="padding: 5px;">第30週 : 後半まとめ</td><td></td></tr> </table>			第1週 : 基礎動物学① (生命倫理・動物福祉)	第16週 : 臨床動物看護学① (動物内科看護学①)	第2週 : 基礎動物学② (動物形態機能学)	第17週 : 臨床動物看護学② (動物内科看護学②)	第3週 : 基礎動物学③ (動物繁殖学)	第18週 : 臨床動物看護学③ (動物外科看護学①)	第4週 : 基礎動物学④ (動物行動学)	第19週 : 臨床動物看護学④ (動物外科看護学②)	第5週 : 基礎動物学⑤ (動物栄養学)	第20週 : 臨床動物看護学⑤ (動物臨床看護学総論)	第6週 : 基礎動物学⑥ (比較動物学)	第21週 : 臨床動物看護学⑥ (動物臨床看護学各論①)	第7週 : 基礎動物学⑦ (法規)	第22週 : 臨床動物看護学⑦ (動物臨床看護学各論②)	第8週 : 基礎動物看護学① (動物看護学概論)	第23週 : 臨床動物看護学⑧ (動物臨床検査学)	第9週 : 基礎動物看護学② (動物病理学①)	第24週 : 臨床動物看護学⑨ (動物医療コミュニケーション)	第10週 : 基礎動物看護学③ (動物病理学②)	第25週 : 愛護・適正飼養学① (愛玩動物学)	第11週 : 基礎動物看護学④ (動物感染症学①)	第26週 : 愛護・適正飼養学② (人と動物の関係学)	第12週 : 基礎動物看護学⑤ (動物感染症学②)	第27週 : 愛護・適正飼養学③ (適正飼養指導論)	第13週 : 基礎動物看護学⑥ (公衆衛生学①)	第28週 : 愛護・適正飼養学④ (動物生活環境学)	第14週 : 基礎動物看護学⑦ (公衆衛生学②)	第29週 : 愛護・適正飼養学⑤ (ペット関連産業概論)	第15週 : 前半まとめ	第30週 : 後半まとめ	
第1週 : 基礎動物学① (生命倫理・動物福祉)	第16週 : 臨床動物看護学① (動物内科看護学①)																																	
第2週 : 基礎動物学② (動物形態機能学)	第17週 : 臨床動物看護学② (動物内科看護学②)																																	
第3週 : 基礎動物学③ (動物繁殖学)	第18週 : 臨床動物看護学③ (動物外科看護学①)																																	
第4週 : 基礎動物学④ (動物行動学)	第19週 : 臨床動物看護学④ (動物外科看護学②)																																	
第5週 : 基礎動物学⑤ (動物栄養学)	第20週 : 臨床動物看護学⑤ (動物臨床看護学総論)																																	
第6週 : 基礎動物学⑥ (比較動物学)	第21週 : 臨床動物看護学⑥ (動物臨床看護学各論①)																																	
第7週 : 基礎動物学⑦ (法規)	第22週 : 臨床動物看護学⑦ (動物臨床看護学各論②)																																	
第8週 : 基礎動物看護学① (動物看護学概論)	第23週 : 臨床動物看護学⑧ (動物臨床検査学)																																	
第9週 : 基礎動物看護学② (動物病理学①)	第24週 : 臨床動物看護学⑨ (動物医療コミュニケーション)																																	
第10週 : 基礎動物看護学③ (動物病理学②)	第25週 : 愛護・適正飼養学① (愛玩動物学)																																	
第11週 : 基礎動物看護学④ (動物感染症学①)	第26週 : 愛護・適正飼養学② (人と動物の関係学)																																	
第12週 : 基礎動物看護学⑤ (動物感染症学②)	第27週 : 愛護・適正飼養学③ (適正飼養指導論)																																	
第13週 : 基礎動物看護学⑥ (公衆衛生学①)	第28週 : 愛護・適正飼養学④ (動物生活環境学)																																	
第14週 : 基礎動物看護学⑦ (公衆衛生学②)	第29週 : 愛護・適正飼養学⑤ (ペット関連産業概論)																																	
第15週 : 前半まとめ	第30週 : 後半まとめ																																	
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第1巻～第6巻』株式会社緑書房、そのほか適宜プリント配布を行う																																	
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%</p>																																	
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 1年生・2年生と多くのことを学んできました。その知識をこの講義で再度復習することで、それぞれの分野の理解を深め、就職後の現場でより一層活躍ができる愛玩動物看護師を目指してほしいです。全ての振り返りになっていくので、少しでもわからないことがあれば、すぐに質問してください。</p>																																	

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース
国内ビジネス研修	高橋 藍		1・2年/通年	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外
必修	16時間	1単位	講義	校外
授業概要・目的	生物の多様性や動物に関する仕事の種類について学び、自分の将来の職業選択に活用する。			
授業の到達目標	生物の多様性や職業について幅広い知識を身につけ、動物のプロとしての就職力を上げる。			
授業計画	普段の授業では体験できない学びができる、国内の施設に研修に行く。 研修先例 上野動物園、多摩動物公園、よこはま動物園ズーラシア、東武動物公園、わんにゃんドームなど			
成績評価	(1)単位については次の項目を基準に認定する。 レポートの提出により校長が単位を認定する。			
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 必修のため、単位を落とさないようにしてください。また研修後にレポートの提出があります。</p> <p>【メッセージ】 動物に関する仕事について考えるとても良い機会です。 研修を通じて、本物の動物のプロを目指しましょう。</p>			

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース		
グルーミング実習	金子 綾羽	2年/(2024年度 開講)	動物看護コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式		
選択必修	120時間	4単位	実習		
実務家教員の経歴	金子綾羽...ペットショップ・サロンにて8年勤務。トリミングをはじめ生体販売から商品販売を通して、お客様とわんちゃんの生活のケアサポートに携わってきた。ペットスタイルゴールド取得、キャットマイスター認定講師。				
授業概要・目的	<p>【授業概要】 実習授業で学校犬を扱い、動物の管理方法の基礎を学ぶ</p> <p>【授業目的】 トリミングのベースとなる基礎技術を学び、道具管理や犬の扱い等安全に作業を行うためのトリミング技術を身につける</p>				
授業の到達目標	<p>1.一人で犬のグルーミングが行える 2.道具の使用目的を理解し正しく扱うことができる 3.安全に配慮した犬の保定、扱いができる 以上の内容を理解する。</p>				
授業計画	第1週 : 道具の持ち方 使い方	第16週 : トイプードルのグルーミング			
	第2週 : グルーミングの流れ デモンストレーション	第17週 : トイプードルのグルーミング			
	第3週 : 足裏のバリカンの刈り方	第18週 : チワワのグルーミング			
	第4週 : トイプードルのグルーミング	第19週 : ウィッグを使用したカット（足）			
	第5週 : 小型長毛犬種のグルーミング	第20週 : トイプードルのグルーミング			
	第6週 : 小型長毛犬種のグルーミング	第21週 : シーザーのグルーミング			
	第7週 : ポメラニアン、チワワのグルーミング	第22週 : 触毛のカット			
	第8週 : ポメラニアン、チワワのグルーミング	第23週 : ウィッグを使用したカット（頭部）			
	第9週 : テリア犬種のグルーミング	第24週 : テリア犬種のグルーミング			
	第10週 : テリア犬種のグルーミング	第25週 : トイプードルのグルーミング			
	第11週 : トイプードルのグルーミング	第26週 : トイプードルのグルーミング			
	第12週 : トイプードルのグルーミング	第27週 : トイプードルのグルーミング			
	第13週 : ウィッグを使用したカット練習(ボディ)	第28週 : トイプードルのグルーミング			
	第14週 : トイプードルのグルーミング	第29週 : グルーミングのオーダーの仕方			
	第15週 : シーザーのグルーミング	第30週 : グルーミングのまとめ			
教科書・参考書等	ラムクリップマニュアル 他適宜プリント配布				
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>				
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 基本の技術を習得するには繰り返し行なうことが何よりも肝心です。無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は学校に連絡をして下さい。</p> <p>【メッセージ】グルーミングは病気の早期発見にもつながる動物の管理には欠かせないものです。トリマーとして働いてきた経験からトリミング・グルーミングの必要性を伝えていきます。</p>				

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース
トリミング実習	熊谷 真美	1年/通年	ナーシングトリマーコース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式
選択必修	120時間	4単位	実習
実務家教員の経歴	熊谷真美…シナウザーのトリミングを得意とし、平成15年よりトリマー教員として勤務。JDA認定トリマー1級、ペットエステティシャンゴールドクラス取得。キャットマイスター認定講師。		
授業概要・目的	<p>【授業概要】 実習授業で学校犬を扱い、動物の管理方法の基礎を学ぶ 【授業目的】 トリミングのベースとなる基礎技術を学び、道具管理や犬の扱い等安全に作業を行うためのトリミング技術を身につける</p>		
授業の到達目標	1.一人で犬のグルーミングが行える 2.道具の使用目的を理解し正しく扱うことができる 3.安全に配慮した犬の保定、扱いができる 以上の内容を理解する。		
授業計画	第1週： 道具の持ち方・使い方	第16週： ライフステージに合わせたグルーミング (老犬)	
	第2週： グルーミングの流れ デモンストレーション	第17週： シーズー・サマーカット	
	第3週： トイプードルのグルーミング	第18週： シーズー・サマーカット	
	第4週： トイプードルのグルーミング	第19週： トイプードルのグルーミング	
	第5週： シーズー・マルチーズ 小型長毛種のグルーミング	第20週： トイプードルのグルーミング	
	第6週： シーズー・マルチーズ 小型長毛種のグルーミング	第21週： トイプードルのグルーミング	
	第7週： チワワ・ポメラニアンのグルーミング	第22週： トイプードルのグルーミング	
	第8週： チワワ・ポメラニアンのグルーミング	第23週： トイプードルのグルーミング	
	第9週： テリアのグルーミング	第24週： トイプードルのグルーミング	
	第10週： テリアのグルーミング	第25週： トイプードルのグルーミング	
	第11週： ウィッグを使用したカット練習	第26週： トイプードルのグルーミング	
	第12週： ウィッグを使用したカット練習	第27週： トイプードルのグルーミング	
	第13週： プードル・シーズーのトリミング	第28週： トイプードルのグルーミング	
	第14週： プードル・シーズーのトリミング	第29週： トイプードルのラムクリップについて	
	第15週： ライフステージに合わせたグルーミング (老犬)	第30週： トイプードルのラムクリップについて	
教科書・参考書等	ラムクリップマニュアル 他適宜プリント配布		
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 期末試験 100%</p>		
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 基本の技術を習得するには繰り返し行なうことが何よりも肝心です。無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は学校に連絡をして下さい。</p> <p>【メッセージ】 グルーミングは病気の早期発見にもつながる動物の管理には欠かせないものです。トリマーとして働いてきた経験からトリミング・グルーミングの必要性を伝えていきます。</p>		

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース				
トリミング実習	金子 綾羽	2年/(2024年度 開講)	ナーシングトリマーコース				
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
選択必修	270時間	9単位	実習	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	金子綾羽...ペットショップ・サロンにて8年勤務。トリミングをはじめ生体販売から商品販売を通して、お客様とわんちゃんの生活のケアサポートに携わってきた。ペットスタイルゴールド取得、キャットマイスター認定講師。						
授業概要・目的	<p>【授業概要】トリミング学を実習授業で実践し、トリミングの応用について学ぶ。また定期的に企業へ赴き接客やお客様のトリミングをするなど、実践的に学ぶ。</p> <p>【授業目的】1年次に身につけたトリミングの基礎技術をベースに応用技術を学ぶ。</p>						
授業の到達目標	<p>1. 犬に負担のない保定、扱いができる 2. 道具を正しく扱うことができる 3. 一人で一頭カットすることができる 以上の内容を理解する。</p>						
授業計画	第1週 : 授業の流れについて	第16週 : トイプードルのラムクリップ⑥					
	第2週 : トイプードルのラムクリップ①	第17週 : トイプードルのラムクリップ⑦					
	第3週 : トイプードルのラムクリップ②	第18週 : ポメラニアン・外来犬のカット①					
	第4週 : トイプードルのラムクリップ③	第19週 : ポメラニアン・外来犬のカット②					
	第5週 : 外来犬の扱いや注意事項について①	第20週 : ベイジングの応用①					
	第6週 : 外来犬の扱いや注意事項について②	第21週 : ベイジングの応用②					
	第7週 : お客様への接客について①	第22週 : 幼犬の扱い・トリミングについて①					
	第8週 : トイプードル・外来犬のペットカット①	第23週 : 幼犬の扱い・トリミングについて②					
	第9週 : トイプードル・外来犬のペットカット②	第24週 : 老犬の扱い・トリミングについて①					
	第10週 : ウィッグのカット(頭)	第25週 : 老犬の扱い・トリミングについて②					
	第11週 : トイプードルのラムクリップ④	第26週 : 入院動物のトリミング					
	第12週 : トイプードルのラムクリップ⑤	第27週 : トイプードルのラムクリップ⑧					
	第13週 : 前期総合復習	第28週 : トイプードルのラムクリップ⑨					
	第14週 : アタッチメントコームの使い方①サマー カット	第29週 : トイプードルのラムクリップ⑩					
	第15週 : アタッチメントコームの使い方②全身バ リカン	第30週 : 後期総合復習					
教科書・参考書等	ラムクリップ						
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>期末試験 100%</p>						
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 動物を扱う実習のため無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は学校に連絡をして下さい。</p> <p>【メッセージ】 動物とともに暮らし、お仕事で関わる中でも、お手入れは必要な技術です。かわいくキレイに仕上げるだけがトリミングではなく、その子の状態や飼い主様との生活環境に合わせたお手入れや、性格を見極め接していくコミュニケーションもとても大事です。幅広い技術を身につけプロフェッショナルを目指しましょう！</p>						

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース																																																												
トリミング実習	中井 亜沙子 / 山田 早矢香	3年/(2025年度開講)	ナーシングトリマーコース																																																												
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式																																																												
選択必修	270時間	9単位	実習																																																												
実務家教員の経歴	中井亜沙子...トリマー歴23年、ドッグショーやペット犬など幅広く学び、長年に渡り学校で多くのトリマー育成に携わっているペットスタイルリストゴールド取得、JKCトリマー教士取得、キャットマイスター認定講師。 山田早矢香...ペットショップにて副店長兼チーフトリマーとして4年間勤務。トリミングの他にも犬の飼育管理にも携わっており仔犬から老犬まで幅広い犬の扱い方を心得ている。ペットスタイルリストゴールド取得、キャットマイスター認定講師。																																																														
授業概要・目的	<p>【授業概要】 トリミング学を実習授業で実践し、トリミングの応用について学ぶ。</p> <p>【授業目的】 2年次に身につけたトリミングの基礎技術をベースに応用技術を学び、実際にお客様の飼っている犬をトリミングすることによって、接客技術やお客様の要望に応えられるトリミング技術を身につける。</p>																																																														
授業の到達目標	1.一人で一頭をカットできる 2.様々な犬種のペットカットができる 以上の内容を理解する。																																																														
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 :</td> <td>トイプードル、外来犬などのペットカット①</td> <td>第16週 :</td> <td>入院動物のトリミング③</td> </tr> <tr> <td>第2週 :</td> <td>トイプードル、外来犬などのペットカット②</td> <td>第17週 :</td> <td>外来犬のペットカット⑨</td> </tr> <tr> <td>第3週 :</td> <td>トイプードル、外来犬などのペットカット③</td> <td>第18週 :</td> <td>外来犬のペットカット⑩</td> </tr> <tr> <td>第4週 :</td> <td>トイプードル、外来犬などのペットカット④</td> <td>第19週 :</td> <td>大型犬のトリミング</td> </tr> <tr> <td>第5週 :</td> <td>トイプードル、外来犬などのペットカット⑤</td> <td>第20週 :</td> <td>入院室動物のケアトリミング④</td> </tr> <tr> <td>第6週 :</td> <td>入院室動物のケアトリミング①</td> <td>第21週 :</td> <td>ポメラニアンのペットカット</td> </tr> <tr> <td>第7週 :</td> <td>トイプードル、外来犬などのペットカット⑥</td> <td>第22週 :</td> <td>シーズーのペットカット①</td> </tr> <tr> <td>第8週 :</td> <td>トイプードル、外来犬などのペットカット⑦</td> <td>第23週 :</td> <td>シーズーのペットカット②</td> </tr> <tr> <td>第9週 :</td> <td>入院室動物のケアトリミング②</td> <td>第24週 :</td> <td>シーズーのペットカット③</td> </tr> <tr> <td>第10週 :</td> <td>チワワ、シーズーの丸刈りの仕方</td> <td>第25週 :</td> <td>老犬のトリミング④</td> </tr> <tr> <td>第11週 :</td> <td>シュナウザーのペットカット</td> <td>第26週 :</td> <td>外来犬のペットカット⑪</td> </tr> <tr> <td>第12週 :</td> <td>外来犬のペットカット⑧</td> <td>第27週 :</td> <td>外来犬のペットカット⑫</td> </tr> <tr> <td>第13週 :</td> <td>老犬のトリミング①</td> <td>第28週 :</td> <td>入院室動物のケアトリミング⑤</td> </tr> <tr> <td>第14週 :</td> <td>老犬のトリミング②</td> <td>第29週 :</td> <td>外来犬のペットカット</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>老犬のトリミング③</td> <td>第30週 :</td> <td>お客様への接客について (オーダーの取り方等)</td> </tr> </table>			第1週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット①	第16週 :	入院動物のトリミング③	第2週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット②	第17週 :	外来犬のペットカット⑨	第3週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット③	第18週 :	外来犬のペットカット⑩	第4週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット④	第19週 :	大型犬のトリミング	第5週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット⑤	第20週 :	入院室動物のケアトリミング④	第6週 :	入院室動物のケアトリミング①	第21週 :	ポメラニアンのペットカット	第7週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット⑥	第22週 :	シーズーのペットカット①	第8週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット⑦	第23週 :	シーズーのペットカット②	第9週 :	入院室動物のケアトリミング②	第24週 :	シーズーのペットカット③	第10週 :	チワワ、シーズーの丸刈りの仕方	第25週 :	老犬のトリミング④	第11週 :	シュナウザーのペットカット	第26週 :	外来犬のペットカット⑪	第12週 :	外来犬のペットカット⑧	第27週 :	外来犬のペットカット⑫	第13週 :	老犬のトリミング①	第28週 :	入院室動物のケアトリミング⑤	第14週 :	老犬のトリミング②	第29週 :	外来犬のペットカット	第15週 :	老犬のトリミング③	第30週 :	お客様への接客について (オーダーの取り方等)
第1週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット①	第16週 :	入院動物のトリミング③																																																												
第2週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット②	第17週 :	外来犬のペットカット⑨																																																												
第3週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット③	第18週 :	外来犬のペットカット⑩																																																												
第4週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット④	第19週 :	大型犬のトリミング																																																												
第5週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット⑤	第20週 :	入院室動物のケアトリミング④																																																												
第6週 :	入院室動物のケアトリミング①	第21週 :	ポメラニアンのペットカット																																																												
第7週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット⑥	第22週 :	シーズーのペットカット①																																																												
第8週 :	トイプードル、外来犬などのペットカット⑦	第23週 :	シーズーのペットカット②																																																												
第9週 :	入院室動物のケアトリミング②	第24週 :	シーズーのペットカット③																																																												
第10週 :	チワワ、シーズーの丸刈りの仕方	第25週 :	老犬のトリミング④																																																												
第11週 :	シュナウザーのペットカット	第26週 :	外来犬のペットカット⑪																																																												
第12週 :	外来犬のペットカット⑧	第27週 :	外来犬のペットカット⑫																																																												
第13週 :	老犬のトリミング①	第28週 :	入院室動物のケアトリミング⑤																																																												
第14週 :	老犬のトリミング②	第29週 :	外来犬のペットカット																																																												
第15週 :	老犬のトリミング③	第30週 :	お客様への接客について (オーダーの取り方等)																																																												
教科書・参考書等	ラムクリップマニュアル																																																														
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>																																																														
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】お客様の犬や入院室動物(を扱った実践的な実習になります。プロ意識を持って出席することが大切です。動物を扱うため、無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は事前に学校に連絡をください。</p> <p>【メッセージ】トリマーとしての仕事をしてきたたくさんの経験をいかして、授業を通してプロの技術を全て伝えていきます。犬に負担をかけないトリミングをし、お客様や犬が幸せになれるトリマーを目指しましょう。</p>																																																														

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース			
高度動物医療実習	伊早坂 ゆかり / 高橋 藍		1年/通年	動物看護コース			
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
選択必修	120時間	4単位	実習	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	伊早坂 ゆかり…大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。 高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナーチャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルリストブロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。						
授業概要・目的	【授業概要】 理学療法について、目的・種類・方法を学ぶ。 【授業目的】 理学療法について知識を含め、動物の身体機能の回復や生活の質(QOL)の改善に取り組んだ、より実践的な看護が行えるようになる。						
授業の到達目標	①リハビリテーションの意義・必要性 ②リハビリテーションに必要な基礎知識(骨格・筋肉・神経) ③病態評価 ④理学療法の種類と方法 ⑤シニア期のケア 以上の内容を理解する。						
授業計画	第1週 : リハビリテーションと理学療法の定義	第16週 : 徒手療法②					
	第2週 : 骨格と関節について	第17週 : 運動療法①					
	第3週 : 筋肉の構造	第18週 : 運動療法②					
	第4週 : 神経の構造	第19週 : 運動療法③					
	第5週 : 傷の治り方	第20週 : ハイドロセラピー(水治療法)①					
	第6週 : 理学療法の目的・意義	第21週 : ハイドロセラピー(水治療法)②					
	第7週 : 理学療法の種類・方法・効果	第22週 : 姿勢反応の改善に有効なバランス訓練					
	第8週 : 準備するもの・実施前の機能評価法	第23週 : 物理療法①					
	第9週 : 形態測定、関節・筋肉評価	第24週 : 物理療法②					
	第10週 : 痛み、疲労度、歩様評価	第25週 : シニア期の定義と変化					
	第11週 : 整形外科的検査	第26週 : シニア期のケアのポイント					
	第12週 : 神経的検査(姿勢反応)	第27週 : 自宅でできる簡単なマッサージ					
	第13週 : 神経的検査(脊髄反射)	第28週 : 理学療法の将来・まとめ					
	第14週 : 治療計画の立案	第29週 : まとめ(試験対策)					
	第15週 : 徒手療法①	第30週 : まとめ(試験対策)					
教科書・参考書等	『愛玩動物看護師の教科書 第4巻 臨床動物看護学』株式会社緑書房、『動物理学療法士2級ライセンステキスト』一般財団法人日本動物理学療法協会、そのほか適宜プリント配布を行う						
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点100%						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	【履修上の注意】 無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は事前に学校に連絡をしてください。授業の進行状況に応じて多少の変動があります。授業でお伝えしますのでよく確認をしてください。 【メッセージ】 理学療法は、手術や外傷などで一度は落ちてしまった身体機能を回復し、生活の質(QOL)を改善することを目的として行うものです。近年では理学療法を専門的に行う病院もあり、その重要性が認識されつつあります。理学療法は自宅で行えるものもあり、家族の協力が必要不可欠です。家族がきちんと治療を続けていく事が出来るよう、繰返し手法を説明し、家族と獣医師の橋渡しが出来る愛玩動物看護師になれるよう、理学療法について理解を深めましょう。						

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース				
高度動物医療実習	高橋 藍	2年/(2024年度 開講)	動物看護コース				
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
選択必修	60時間	2単位	実習	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナーチャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルブロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。						
授業概要・目的	<p>【授業概要】 老犬や整形疾患を持った動物に対して理学療法の手技を行い経過を観察し評価する。 【授業目的】 老犬や整形疾患を持った動物に「徒手療法」「運動療法」「物理療法」を行うことで、その手技の方法を理解し身に付けることができる。 </p>						
授業の到達目標	老犬や整形疾患を持った動物の状態計測を正しく行い、その動物に合わせた手技を選択し行うことができる。						
授業計画	第1週： 施術動物の形態測定	第16週： 治療動物に合わせた施術①					
	第2週： 「徒手療法」マッサージ療法	第17週： 施術動物の形態測定					
	第3週： 施術動物の形態測定	第18週： 治療動物に合わせた施術②					
	第4週： 「徒手療法」他動運動	第19週： 施術動物の形態測定					
	第5週： 施術動物の形態測定	第20週： 治療動物に合わせた施術③					
	第6週： 「運動療法」歩行練習	第21週： 施術動物の形態測定					
	第7週： 施術動物の形態測定	第22週： 治療動物に合わせた施術④					
	第8週： 「運動療法」フィジオロール運動	第23週： 施術動物の形態測定					
	第9週： 施術動物の形態測定	第24週： 治療動物に合わせた施術⑤					
	第10週： 「水治療法（ハイドロセラピー）」水中トレッドミル	第25週： 施術動物の形態測定					
	第11週： 施術動物の形態測定	第26週： 治療動物に合わせた施術⑥					
	第12週： 治療動物に対する施術の検討	第27週： 施術動物の形態測定					
	第13週： 施術動物の形態測定	第28週： 治療動物に合わせた施術⑦					
	第14週： 治療動物に合わせた施術	第29週： 施術動物の形態測定					
	第15週： 施術動物の形態測定	第30週： 1年を通した治療の評価発表					
教科書・参考書等							
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験得点 100%						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 学校犬や入院室動物を扱った実践的な実習になります。プロ意識を持って出席することが大切です。動物を扱うため、無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は事前に学校に連絡をください。 【メッセージ】 1年次に学んだ理学療法の知識を、実際に実習しながら理解を深めていきます。実際に理学療法を行うことで、より的確に飼主様に指導・アドバイスが行える愛玩動物看護師になれます。動物の病態に合わせた理学療法を実践的に学び、根気よく行う必用性を飼主様にしっかりと伝えていくようにしましょう。 </p>						

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																																																												
高度動物医療実習	中原 大地 / 高橋 藍		3年/(2025年度開講)	動物看護コース																																																												
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																																																												
選択必修	420時間	14単位	実習	校内 実務家教員の授業																																																												
実務家教員の経歴	中原 大地…2023年獣医学卒業・獣医師免許取得。 高橋藍…動物病院にて看護師兼トリマーとして勤務、全国各地の犬ぞりレースに出場し優勝含め入賞歴多数取得。愛玩動物看護師取得、JDA認定ドッグトレーナー1級、JAHAマナーチャレンジ、JDA認定トリマー2級、PSIA認定ペットスタイルリストプロンズクラス、キャットマイスターの資格を持つ。																																																															
授業概要・目的	<p>【授業概要】 ①老犬や整形疾患を持った動物に対して理学療法の手技を行い経過を観察し評価する。 ②疾患別の栄養素を理解する。</p> <p>【授業目的】 ①老犬や整形疾患を持った動物に「徒手療法」「運動療法」「物理療法」を行うことで、その手技の方法を理解し身に付けることができる。 ②疾患別の栄養素を理解することで飼い主様へのアドバイスが的確に行うことができる。</p>																																																															
授業の到達目標	<p>①老犬や整形疾患を持った動物の状態計測を正しく行い、その動物に合わせた手技を選択し行うことができる。 ②疾患別の栄養素を理解し、各疾患に合わせたフードを選択することが出来る。</p>																																																															
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第16週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第2週 :</td> <td>基礎栄養学</td> <td>第17週 :</td> <td>肝臓・胆嚢・脾臓疾患に対する食事管理</td> </tr> <tr> <td>第3週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第18週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第4週 :</td> <td>下部尿路疾患に対する食事管理</td> <td>第19週 :</td> <td>糖尿病に対する食事管理</td> </tr> <tr> <td>第5週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第20週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第6週 :</td> <td>皮膚疾患に対する食事管理</td> <td>第21週 :</td> <td>関節疾患に対する食事管理</td> </tr> <tr> <td>第7週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第22週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第8週 :</td> <td>下痢と便秘に対する食事管理</td> <td>第23週 :</td> <td>健康維持のための食事管理</td> </tr> <tr> <td>第9週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第24週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第10週 :</td> <td>肥満に対する食事管理</td> <td>第25週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第11週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第26週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第12週 :</td> <td>慢性腎臓病に対する食事管理</td> <td>第27週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第13週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第28週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第14週 :</td> <td>心臓病に対する食事管理</td> <td>第29週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> <td>第30週 :</td> <td>施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術</td> </tr> </tbody> </table>				第1週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第16週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第2週 :	基礎栄養学	第17週 :	肝臓・胆嚢・脾臓疾患に対する食事管理	第3週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第18週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第4週 :	下部尿路疾患に対する食事管理	第19週 :	糖尿病に対する食事管理	第5週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第20週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第6週 :	皮膚疾患に対する食事管理	第21週 :	関節疾患に対する食事管理	第7週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第22週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第8週 :	下痢と便秘に対する食事管理	第23週 :	健康維持のための食事管理	第9週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第24週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第10週 :	肥満に対する食事管理	第25週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第11週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第26週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第12週 :	慢性腎臓病に対する食事管理	第27週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第13週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第28週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第14週 :	心臓病に対する食事管理	第29週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第15週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第30週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術
第1週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第16週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第2週 :	基礎栄養学	第17週 :	肝臓・胆嚢・脾臓疾患に対する食事管理																																																													
第3週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第18週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第4週 :	下部尿路疾患に対する食事管理	第19週 :	糖尿病に対する食事管理																																																													
第5週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第20週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第6週 :	皮膚疾患に対する食事管理	第21週 :	関節疾患に対する食事管理																																																													
第7週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第22週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第8週 :	下痢と便秘に対する食事管理	第23週 :	健康維持のための食事管理																																																													
第9週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第24週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第10週 :	肥満に対する食事管理	第25週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第11週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第26週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第12週 :	慢性腎臓病に対する食事管理	第27週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第13週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第28週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第14週 :	心臓病に対する食事管理	第29週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
第15週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術	第30週 :	施術動物の形態測定 治療動物に合わせた施術																																																													
教科書・参考書等																																																																
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 100%</p>																																																															
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 学校犬や入院室動物を扱った実践的な実習になります。プロ意識を持って出席することが大切です。動物を扱うため、無断欠席や遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は事前に学校に連絡をください。</p> <p>【メッセージ】 動物の病態に応じた理学療法を実践的に学んでいきます。また、病気に応じた食事管理について詳しく学んでいきます。施術だけでなく、栄養面からも病気の回復サポートが行えるワンランク上の愛玩動物看護師を目指すことができます。目の前の動物達をしっかり観察し、個々の動物にあつた看護ケアができるように、みんなで考え実践していきましょう。</p>																																																															

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース
夏季特別講習	篠田恵利 / 伊早坂ゆかり 岡島優 / 熊谷真美	2年/通年	動物看護コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式
選択必修	30時間	2単位	講義
実務家教員の経歴	篠田恵利：動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアルマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター取得、キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得。 岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ。 伊早坂 ゆかり…大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。 熊谷真美…シュナウザーのトリミングを得意とし、平成15年よりトリマー教員として勤務。JDA認定トリマー1級、ペットエステティシャンゴールドクラス取得。キャットマイスター認定講師。		
授業概要・目的	前期授業で不足したものを補い、後期授業にむけて必要な技術・知識を学ぶ。		
授業の到達目標	後期授業にむけて必要な技術・知識を身につける。		
授業計画	第1回 グルーミングの基本作業① 第2回 グルーミングの基本作業② 第3回 保定・入院動物のケア 第4回 保定・入院動物のケア 第5回 入院室のケア		
教科書・参考書等			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 成績評定試験 100%		
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 夏季休講中の登校日となります。インターンシップや旅行などと期間が重ならないようにしてください。</p> <p>【メッセージ】 実習の授業が1ヶ月以上時間が空いてしまい技術や感覚が鈍らないように行う授業です。夏季特別講習で更なる技術向上を行いましょう。また、愛玩動物看護師国家試験に向けての対策が始まります。全員合格を目指して頑張りましょう。</p>		

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース	
夏季特別講習	篠田恵利 / 伊早坂ゆかり 岡島優 / 熊谷真美	2年/(2024年度 開講)	動物看護コース	
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	
選択必修	30時間	2単位	講義	
実務家教員の経歴				
篠田恵利：動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアルマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター取得、キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得。 岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ。 伊早坂 ゆかり…大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。 熊谷真美…シナウザーのトリミング得意とし、平成15年よりトリマー教員として勤務。JDA認定トリマー1級、ペットエステティシャンゴールドクラス取得。キャットマイスター認定講師。				
授業概要・目的	前期授業で不足したものを補い、後期授業にむけて必要な技術・知識を学ぶ。			
授業の到達目標	後期授業にむけて必要な技術・知識を身につける。			
授業計画	第1回 グルーミング①			
	第2回 グルーミング②			
	第3回 入院動物のケア			
	第4回 入院動物のケア			
	第5回 栄養学			
教科書・参考書等				
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 成績評定試験 100%			
履修上の注意 担当教員からの メッセージ	<p>【履修上の注意】 夏季休講中の登校日となります。インターンシップや旅行などと期間が重ならないようにしてください。</p> <p>【メッセージ】 実習の授業が1ヶ月以上時間が空いてしまい技術や感覚が鈍らないように行う授業です。夏季特別講習で更なる技術向上を行いましょう。また、愛玩動物看護師国家試験に向けての対策が始まります。全員合格を目指して頑張りましょう</p>			

科目名	担当教員名	学年/学期	対象コース
夏季特別講習	篠田恵利 / 伊早坂ゆかり 岡島優 / 熊谷真美	3年/(2025年度 開講)	全コース
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式
選択必修	30時間	2単位	講義
実務家教員の経歴			
篠田恵利：動物病院にて勤務後、研究施設でヌードマウスの繁殖に携わる。動物介護に興味を持ち、現代医学だけではなく、マッサージやアルマセラピー等、代替療法も学ぶ。愛玩動物看護師・アニマルアロマセラピスト・ホリスティックマッサージインストラクター取得、キャットマイスター認定講師、ペット栄養管理士取得。 岡島 優…専門学校を卒業し、動物病院で動物看護師として勤務。愛玩動物看護師、NAVA認定トリマー2級、損害保険募集人、キャットマイスターの資格を持つ。 伊早坂 ゆかり…大学を卒業後、さらに専門学校で実践的に学び、動物病院で動物看護師として勤務した。愛玩動物看護師、キャットマイスターべーシック取得。 熊谷真美…シナウザーのトリミング得意とし、平成15年よりトリマー教員として勤務。JDA認定トリマー1級、ペットエステティシャンゴールドクラス取得。キャットマイスター認定講師。			
授業概要・目的	前期授業で不足したものを補い、後期授業にむけて必要な技術・知識を学ぶ。		
授業の到達目標	後期授業にむけて必要な技術・知識を身につける。		
授業計画	第1回 疾患のある犬についてのグルーミングとカット①		
	第2回 疾患のある犬についてのグルーミングとカット②		
	第3回 愛玩動物看護師国家試験対策・入院動物のケア		
	第4回 愛玩動物看護師国家試験対策・入院動物のケア		
	第5回 愛玩動物看護師国家試験対策・入院動物のケア		
教科書・参考書等			
成績評価	(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。 (2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 成績評定試験 100%		
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 夏季休講中の登校日となります。インターンシップや旅行などと期間が重ならないようにしてください。</p> <p>【メッセージ】 実習の授業が1ヶ月以上時間が空いてしまい技術や感覚が鈍らないように行う授業です。夏季特別講習で更なる技術向上を行いましょう。また、愛玩動物看護師国家試験に向けての対策を行います。全員合格を目指して頑張りましょう。</p>		

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																																																												
ビジネスコミュニケーション	古矢 奈津美		1年/通年	全コース																																																												
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																																																												
必修	60時間	4単位	講義	校内 実務家教員の授業																																																												
実務家教員の経歴	古矢 奈津美…テーマパークのサービススタッフとして4年半勤務、店舗での接客だけではなく、新人スタッフへの教育にも携わる。その後公共職業安定所にて勤務し、求人・助成金の受付・相談、職業相談などを行う。																																																															
授業概要・目的	<p>【授業概要】 社会人としてのマナー・コミュニケーションについて学ぶ。 またオープンキャンパスとも連動させることにより、実践的なコミュニケーションスキルについて学ぶ。</p> <p>【授業目的】 ビジネス能力検定合格だけでなく、ペット業界独特的マナーを身につけ、キャリアサポートにも結び付ける。</p>																																																															
授業の到達目標	<p>1、信頼されるペットのプロとして活躍していくため、社会人として求められる立ち居振る舞いやマナーを身につける 2、ビジネス能力検定3級の合格程度の知識を身につける</p>																																																															
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 :</td> <td>ビジネスコミュニケーションについて 挨拶と返事・お辞儀の仕方</td> <td>第16週 :</td> <td>仕事中の態度と健康管理 出社・退社・休暇のルール</td> </tr> <tr> <td>第2週 :</td> <td>オープンキャンパスの役割と学生スタッフについて</td> <td>第17週 :</td> <td>指示の受け方、忠告の受け方について</td> </tr> <tr> <td>第3週 :</td> <td>業界の求める人材、基本精神、行動指針について</td> <td>第18週 :</td> <td>報告・連絡・相談について</td> </tr> <tr> <td>第4週 :</td> <td>コミュニケーションの種類、第一印象、身だしなみについて</td> <td>第19週 :</td> <td>来客応対の基本、来客応対の流れについて</td> </tr> <tr> <td>第5週 :</td> <td>ペット関連大手企業について</td> <td>第20週 :</td> <td>電話応対について</td> </tr> <tr> <td>第6週 :</td> <td>インターンシップについて</td> <td>第21週 :</td> <td>グラフ・表の種類、読み解きについて</td> </tr> <tr> <td>第7週 :</td> <td>履歴書について</td> <td>第22週 :</td> <td>メディアからの情報収集について</td> </tr> <tr> <td>第8週 :</td> <td>ビジネス文書について</td> <td>第23週 :</td> <td>ビジネス能力検定対策① ケーススタディの考え方</td> </tr> <tr> <td>第9週 :</td> <td>お礼状・お悔み状・封筒の書き方について</td> <td>第24週 :</td> <td>ビジネス能力検定対策② メディア長文問題対策</td> </tr> <tr> <td>第10週 :</td> <td>敬語の種類、尊敬語と謙譲語の使い方 飼い主様への言葉遣い</td> <td>第25週 :</td> <td>ビジネス能力検定対策③ グラフ長文問題対策</td> </tr> <tr> <td>第11週 :</td> <td>間違えやすい敬語、ファミコン言葉について 飼い主様への言葉遣い</td> <td>第26週 :</td> <td>就職活動について</td> </tr> <tr> <td>第12週 :</td> <td>前期まとめ</td> <td>第27週 :</td> <td>求人票の見方、雇用条件について</td> </tr> <tr> <td>第13週 :</td> <td>ビジネス能力検定について、期待される社会人・職業人になるために働く意識を考える</td> <td>第28週 :</td> <td>志望動機の書き方①</td> </tr> <tr> <td>第14週 :</td> <td>職場での基本ルール 8つの意識とスタッフコミュニケーション</td> <td>第29週 :</td> <td>後期まとめ</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>クライアントエデュケーション</td> <td>第30週 :</td> <td>志望動機の書き方②</td> </tr> </table>				第1週 :	ビジネスコミュニケーションについて 挨拶と返事・お辞儀の仕方	第16週 :	仕事中の態度と健康管理 出社・退社・休暇のルール	第2週 :	オープンキャンパスの役割と学生スタッフについて	第17週 :	指示の受け方、忠告の受け方について	第3週 :	業界の求める人材、基本精神、行動指針について	第18週 :	報告・連絡・相談について	第4週 :	コミュニケーションの種類、第一印象、身だしなみについて	第19週 :	来客応対の基本、来客応対の流れについて	第5週 :	ペット関連大手企業について	第20週 :	電話応対について	第6週 :	インターンシップについて	第21週 :	グラフ・表の種類、読み解きについて	第7週 :	履歴書について	第22週 :	メディアからの情報収集について	第8週 :	ビジネス文書について	第23週 :	ビジネス能力検定対策① ケーススタディの考え方	第9週 :	お礼状・お悔み状・封筒の書き方について	第24週 :	ビジネス能力検定対策② メディア長文問題対策	第10週 :	敬語の種類、尊敬語と謙譲語の使い方 飼い主様への言葉遣い	第25週 :	ビジネス能力検定対策③ グラフ長文問題対策	第11週 :	間違えやすい敬語、ファミコン言葉について 飼い主様への言葉遣い	第26週 :	就職活動について	第12週 :	前期まとめ	第27週 :	求人票の見方、雇用条件について	第13週 :	ビジネス能力検定について、期待される社会人・職業人になるために働く意識を考える	第28週 :	志望動機の書き方①	第14週 :	職場での基本ルール 8つの意識とスタッフコミュニケーション	第29週 :	後期まとめ	第15週 :	クライアントエデュケーション	第30週 :	志望動機の書き方②
第1週 :	ビジネスコミュニケーションについて 挨拶と返事・お辞儀の仕方	第16週 :	仕事中の態度と健康管理 出社・退社・休暇のルール																																																													
第2週 :	オープンキャンパスの役割と学生スタッフについて	第17週 :	指示の受け方、忠告の受け方について																																																													
第3週 :	業界の求める人材、基本精神、行動指針について	第18週 :	報告・連絡・相談について																																																													
第4週 :	コミュニケーションの種類、第一印象、身だしなみについて	第19週 :	来客応対の基本、来客応対の流れについて																																																													
第5週 :	ペット関連大手企業について	第20週 :	電話応対について																																																													
第6週 :	インターンシップについて	第21週 :	グラフ・表の種類、読み解きについて																																																													
第7週 :	履歴書について	第22週 :	メディアからの情報収集について																																																													
第8週 :	ビジネス文書について	第23週 :	ビジネス能力検定対策① ケーススタディの考え方																																																													
第9週 :	お礼状・お悔み状・封筒の書き方について	第24週 :	ビジネス能力検定対策② メディア長文問題対策																																																													
第10週 :	敬語の種類、尊敬語と謙譲語の使い方 飼い主様への言葉遣い	第25週 :	ビジネス能力検定対策③ グラフ長文問題対策																																																													
第11週 :	間違えやすい敬語、ファミコン言葉について 飼い主様への言葉遣い	第26週 :	就職活動について																																																													
第12週 :	前期まとめ	第27週 :	求人票の見方、雇用条件について																																																													
第13週 :	ビジネス能力検定について、期待される社会人・職業人になるために働く意識を考える	第28週 :	志望動機の書き方①																																																													
第14週 :	職場での基本ルール 8つの意識とスタッフコミュニケーション	第29週 :	後期まとめ																																																													
第15週 :	クライアントエデュケーション	第30週 :	志望動機の書き方②																																																													
教科書・参考書等	コミュニケーションキャリアガイド、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団監修『ビジネス能力検定ジョブバス3級公式テキスト』 日本能率協会マネジメントセンター、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団監修『ビジネス能力検定ジョブバス3級公式試験問題集』 日本能率協会マネジメントセンター そのほか適宜プリント配布を行う																																																															
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 期末試験得点 100%</p>																																																															
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 接客の場面では、自ら気づき、積極的に行動に移すことが必要です。妥協をせず気付く力・観察力を身につけ、自分で考えて向上させなければなりません。そのため、授業中を就業中とみなしていますので、無断欠席・遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 マナーは決して堅苦しいもの・難しいものではありません。お客様に満足いただくにはどうしたらいいのか、喜んでいただくには、笑顔になつていただくには…を考えた結果です。お客様が笑顔になれば、スタッフも自然と笑顔になります。一緒に笑顔あふれるプロになりましょう！</p>																																																															

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																																																												
ビジネスコミュニケーション	古矢 奈津美		2年/通年	全コース																																																												
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																																																												
必修	60時間	4単位	講義	校内 実務家教員の授業																																																												
実務家教員の経歴	古矢 奈津美...テーマパークのサービススタッフとして勤務、店舗での接客だけではなく、新人スタッフへの教育にも携わる。その後公共職業安定所にて勤務し、求人・助成金の受付・相談、職業相談などを行う。																																																															
授業概要・目的	<p>【授業概要】 就職活動の流れを理解し、必要な対策について学ぶ。社会人としてのマナー・コミュニケーションについて学ぶ。またオープンキャンパスとも連動させることにより、実践的なコミュニケーションスキルについて学ぶ。</p> <p>【授業目的】 スムーズな就職活動のスタートをきることで、自分に合った企業を見つけ、余裕を持った採用選考対策を行う。 社会人として求められる立ち居振る舞いやマナーを身につけ、キャリアアップへと結びつける。</p>																																																															
授業の到達目標	信頼されるペットのプロとして活躍していくため、社会人として求められる立ち居振る舞いやマナーを身につける																																																															
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 :</td> <td>企業説明会について、今後の就活スケジュールと自分の就活プラン</td> <td>第16週 :</td> <td>好印象な人になるために</td> </tr> <tr> <td>第2週 :</td> <td>志望動機の書き方①</td> <td>第17週 :</td> <td>お付き合いのマナー</td> </tr> <tr> <td>第3週 :</td> <td>志望動機の書き方②</td> <td>第18週 :</td> <td>冠婚葬祭のマナー①</td> </tr> <tr> <td>第4週 :</td> <td>合同企業説明会におけるマナー</td> <td>第19週 :</td> <td>冠婚葬祭のマナー②</td> </tr> <tr> <td>第5週 :</td> <td>履歴書について</td> <td>第20週 :</td> <td>祝儀袋と不祝儀袋①</td> </tr> <tr> <td>第6週 :</td> <td>エントリーシート・自己PRの書き方</td> <td>第21週 :</td> <td>祝儀袋と不祝儀袋②</td> </tr> <tr> <td>第7週 :</td> <td>送付状の作り方、封書の書き方と郵送方法</td> <td>第22週 :</td> <td>来客応対とあいさつの仕方</td> </tr> <tr> <td>第8週 :</td> <td>お礼状のマナー</td> <td>第23週 :</td> <td>お客様とのコミュニケーション</td> </tr> <tr> <td>第9週 :</td> <td>面接の流れ、想定質問</td> <td>第24週 :</td> <td>欠勤・遅刻・早退のルール①</td> </tr> <tr> <td>第10週 :</td> <td>面接のマナー</td> <td>第25週 :</td> <td>欠勤・遅刻・早退のルール②</td> </tr> <tr> <td>第11週 :</td> <td>電話応対の基本①</td> <td>第26週 :</td> <td>クレーム応対①</td> </tr> <tr> <td>第12週 :</td> <td>電話応対の基本②</td> <td>第27週 :</td> <td>クレーム応対②</td> </tr> <tr> <td>第13週 :</td> <td>前期まとめ</td> <td>第28週 :</td> <td>クレーム応対③</td> </tr> <tr> <td>第14週 :</td> <td>電話応対の基本③</td> <td>第29週 :</td> <td>後期まとめ</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>ビジネスメールの構成とマナー</td> <td>第30週 :</td> <td>一般常識</td> </tr> </table>				第1週 :	企業説明会について、今後の就活スケジュールと自分の就活プラン	第16週 :	好印象な人になるために	第2週 :	志望動機の書き方①	第17週 :	お付き合いのマナー	第3週 :	志望動機の書き方②	第18週 :	冠婚葬祭のマナー①	第4週 :	合同企業説明会におけるマナー	第19週 :	冠婚葬祭のマナー②	第5週 :	履歴書について	第20週 :	祝儀袋と不祝儀袋①	第6週 :	エントリーシート・自己PRの書き方	第21週 :	祝儀袋と不祝儀袋②	第7週 :	送付状の作り方、封書の書き方と郵送方法	第22週 :	来客応対とあいさつの仕方	第8週 :	お礼状のマナー	第23週 :	お客様とのコミュニケーション	第9週 :	面接の流れ、想定質問	第24週 :	欠勤・遅刻・早退のルール①	第10週 :	面接のマナー	第25週 :	欠勤・遅刻・早退のルール②	第11週 :	電話応対の基本①	第26週 :	クレーム応対①	第12週 :	電話応対の基本②	第27週 :	クレーム応対②	第13週 :	前期まとめ	第28週 :	クレーム応対③	第14週 :	電話応対の基本③	第29週 :	後期まとめ	第15週 :	ビジネスメールの構成とマナー	第30週 :	一般常識
第1週 :	企業説明会について、今後の就活スケジュールと自分の就活プラン	第16週 :	好印象な人になるために																																																													
第2週 :	志望動機の書き方①	第17週 :	お付き合いのマナー																																																													
第3週 :	志望動機の書き方②	第18週 :	冠婚葬祭のマナー①																																																													
第4週 :	合同企業説明会におけるマナー	第19週 :	冠婚葬祭のマナー②																																																													
第5週 :	履歴書について	第20週 :	祝儀袋と不祝儀袋①																																																													
第6週 :	エントリーシート・自己PRの書き方	第21週 :	祝儀袋と不祝儀袋②																																																													
第7週 :	送付状の作り方、封書の書き方と郵送方法	第22週 :	来客応対とあいさつの仕方																																																													
第8週 :	お礼状のマナー	第23週 :	お客様とのコミュニケーション																																																													
第9週 :	面接の流れ、想定質問	第24週 :	欠勤・遅刻・早退のルール①																																																													
第10週 :	面接のマナー	第25週 :	欠勤・遅刻・早退のルール②																																																													
第11週 :	電話応対の基本①	第26週 :	クレーム応対①																																																													
第12週 :	電話応対の基本②	第27週 :	クレーム応対②																																																													
第13週 :	前期まとめ	第28週 :	クレーム応対③																																																													
第14週 :	電話応対の基本③	第29週 :	後期まとめ																																																													
第15週 :	ビジネスメールの構成とマナー	第30週 :	一般常識																																																													
教科書・参考書等	コミュニケーションキャリアガイド、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団監修『ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』 日本能率協会マネジメントセンター、そのほか適宜プリント配布を行う																																																															
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>期末試験得点 100%</p>																																																															
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 接客の場面では、自ら気づき、積極的に行動に移すことが必要です。妥協をせず気付く力・観察力を身につけ、自分で考えて向上させなければなりません。そのため、授業中を就業中とみなしていますので、無断欠席・遅刻は厳禁です。やむを得ず欠席・遅刻をする場合は事前に学校に連絡をしてください。</p> <p>【メッセージ】 マナーは決して堅苦しいもの・難しいものではありません。お客様に満足いただくにはどうしたらいいのか、喜んでいただくには、笑顔になっていただくには...を考えた結果です。お客様が笑顔になれば、スタッフも自然と笑顔になります。一緒に笑顔あふれるプロになりましょう！</p>																																																															

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース			
基礎情報処理	濱田 淳平		1年/通年	全コース			
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
必修	30時間	2単位	講義	校内 実務家教員の授業			
実務家教員の経歴	濱田 淳平…平成5年～25年まで専門学校の教務部。25年からJ design attic運営						
授業概要・目的	<p>【授業概要】 パソコンに関する基礎的なことや正しいタイピング法を学ぶ。ビジネス文書の作成をはじめ演習を通じ、実務にて使用できるパソコンの基本操作を習得する。</p> <p>【授業目的】 情報処理に関する基礎的な知識・技術を身につける。</p>						
授業の到達目標	1.パソコンが使用できる。 2.スムーズにタイピングができる。 3.Wordの起動ができる。 4.Wordの画面構成がわかる。 5.Wordで各種の文字入力ができる 6.Wordで文章が作成ができる。 7.Wordで表が作成ができる。	8.Excelの起動ができる。 7.Excelの画面構成がわかる。 7.Excelで表作成ができる。 8.Excelで数式の入力ができる。					
授業計画	第1週： パソコンの使用方法について	第16週： Excelの基礎・概要について ①					
	第2週： タイピングの基礎について	第17週： Excelの基礎・概要について ②					
	第3週： Wordの基礎・概要について ①	第18週： Excelの操作方法について ①					
	第4週： Wordの基礎・概要について ②	第19週： Excelの操作方法について ②					
	第5週： Wordの操作方法について ①	第20週： Excel データ入力について①(データの種類、入力手順)					
	第6週： Wordの操作方法について ②	第21週： Excel データ入力について②(文字列、数值、日付の入力)					
	第7週： Word 文字の入力①(IME、英数字・記号・ひらがなどの入力、文字変換について)	第22週： Excel データ入力について③(データ修正、長い文字列の入力、数式の入力)					
	第8週： Word 文字の入力②(IME、英数字・記号・ひらがなどの入力、文字変換について)	第23週： Excel 表作成について①(関数、SUM、AVERAGE)					
	第9週： Word 文章の作成について①(ページレイアウトの設定)	第24週： Excel 表作成について②(表の罫線や塗りつぶし設定)					
	第10週： Word 文章の作成について②(編集記号、日付、文章入力)	第25週： Excel 表作成について③(表示形式)					
	第11週： Word 文章の作成について③(頭語と結語、あいさつ文、記書き)	第26週： Excel 表作成について④(配置の設定)					
	第12週： Word 文章の作成について④(範囲選択、文字の削除と挿入)	第27週： Excel 数式の入力について①(関数の入力方法)					
	第13週： Word 表の作成について①(表の構成、表の作成方法)	第28週： Excel 数式の入力について②(様々な関数1)					
	第14週： Word 表の作成について②(表の挿入、表の文字入力)	第29週： Excel 数式の入力について③(様々な関数2)					
	第15週： Word 表の作成について③(表の範囲選択)	第30週： Excel 数式の入力について④(様々な関数3)					
教科書・参考書等	よくわかるMicrosoft Office Word 2019基礎 発行：大森康文 FOM出版 よくわかるMicrosoft Office Excel 2019基礎 発行：大森康文 FOM出版						
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験100%</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 タブレットに入っている教科書を使用しますので、タブレットをしっかりと充電して忘れずに持参してください。 授業はパソコン室で行います。教室の使用ルールをしっかりと守ってください。</p> <p>【メッセージ】 動物の技術や知識だけでなく、パソコンも使用できるようになると活躍のフィールドが広がります。パソコンもできる動物のプロを目指しましょう！</p>						

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース		
応用情報処理	濱田 淳平		1年/通年	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外		
必修	30時間	2単位	演習	校内 実務家教員の授業		
実務家教員の経歴	濱田 淳平…平成5年～25年まで専門学校の教務部。25年からJ design attic運営					
授業概要・目的	<p>【授業概要】 基礎情報処理で学んだことを基礎に、タイピングの応用やWordやExcelの応用を学びパソコンを使用することができる。</p> <p>【授業目的】 情報処理に関する応用的な知識・技術を身につける。</p>					
授業の到達目標	1.単語の登録機能が使用できる 2.読めない漢字が入力できる 3.ビジネス文章の作成ができる 4.表の機能を利用して申込書などの書類が作成できる		5.Excelで表の作成だけでなく編集ができる 6.相対参照と絶対参照の違いを理解し、使い分けることができる。			
授業計画	第1週： タイピングの応用 ①		第16週： Excel データ入力について①(データ編集、ショートカットキー)			
	第2週： タイピングの応用 ②		第17週： Excel データ入力について②(セル範囲選択、コマンドの実行)			
	第3週： Word 文字の入力①(文字変換の応用、文章の変換)		第18週： Excel データ入力について③(ブックの保存、オートフィル)			
	第4週： Word 文字の入力②(文字変換の応用、文章の変換)		第19週： Excel データ入力について④(オートフィル)			
	第5週： Word 文字の入力③(単語の登録、IMEの応用)		第20週： Excel 表作成について①(フォント書式の設定)			
	第6週： Word 文字の入力④(単語の登録、IMEの応用)		第21週： Excel 表作成について②(セルのスタイル設定)			
	第7週： Word 文章の作成について①(文字のコピーと移動、ショートカットキー)		第22週： Excel 表作成について③(パーセント・小数点・日付の表示設定)			
	第8週： Word 文章の作成について②(文字の配置)		第23週： Excel 表作成について④(列幅や行の高さ設定)			
	第9週： Word 文章の作成について③(文字の装飾)		第24週： Excel 表作成について⑤(行の削除や挿入)			
	第10週： Word 文章の作成について④(文章の保存・印刷)		第25週： Excel 表作成について⑥(列の非表示・再表示)			
	第11週： Word 表の作成について①(表のレイアウト変更1)		第26週： Excel 数式の入力について①(セルの参照)			
	第12週： Word 表の作成について②(表のレイアウト変更2)		第27週： Excel 数式の入力について②(相対参照1)			
	第13週： Word 表の作成について③(表の書式設定)		第28週： Excel 数式の入力について③(相対参照2)			
	第14週： Word 表の作成について④(表のスタイル適用)		第29週： Excel 数式の入力について④(絶対参照1)			
	第15週： Word 表の作成について⑤(表の段落罫線)		第30週： Excel 数式の入力について⑤(絶対参照2)			
教科書・参考書等	よくわかるMicrosoft Office Word 2019基礎 発行：大森康文 FOM出版 よくわかるMicrosoft Office Excel 2019基礎 発行：大森康文 FOM出版					
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。 ①期末試験100%</p>					
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 タブレットに入っている教科書を使用しますので、タブレットをしっかり充電して忘れずに持参してください。 授業はパソコン室で行います。教室の使用ルールをしっかり守ってください。</p> <p>【メッセージ】 動物の技術や知識だけでなく、パソコンも使用できるようになると活躍のフィールドが広がります。パソコンもできる動物のプロを目指しましょう！</p>					

科目名	担当教員名		学年/学期	対象コース																																																												
販売概論	根岸 秀晃		1年/通年	全コース																																																												
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外																																																												
必修	60時間	4単位	講義	校内 実務家教員の授業																																																												
実務家教員の経歴	根岸秀晃…チャンピオン犬を多数育成してきたブリーダーのもとで、7年間飼育管理やハンドリングの経験を積みながら、DogShowでも入賞の経験が数多くあります。トレーナー1級の資格を持ち、現在はペットショップの社長として愛犬のしつけ教室も行う。																																																															
授業概要・目的	<p>【授業概要】 家庭動物管理士の資格取得を目指し、ペットショップで販売員として働くに際して、身につけておかなければならぬことを学ぶ。 【授業目的】 ペットショップ販売員として必要な知識の習得や資格取得を目指します。トリミングや動物販売、動物訓練などを行う際の必要な知識や、法律を学びプロとして働くことができます。</p>																																																															
授業の到達目標	1.家庭動物管理士認定試験の資格取得。 2.動物取扱責任者に必要な資格、知識の取得。 3.動物の愛護及び管理に関する法律に準じた業務ができる。																																																															
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1週 :</td> <td>動物取扱業者の職業論理①</td> <td>第16週 :</td> <td>前期総合復習</td> </tr> <tr> <td>第2週 :</td> <td>動物取扱業者の職業論理②</td> <td>第17週 :</td> <td>動物の健康管理と公衆衛生①</td> </tr> <tr> <td>第3週 :</td> <td>動物取扱業者の職業論理③</td> <td>第18週 :</td> <td>動物の健康管理と公衆衛生②</td> </tr> <tr> <td>第4週 :</td> <td>動物取扱業者の職業論理④</td> <td>第19週 :</td> <td>動物の健康管理と公衆衛生③</td> </tr> <tr> <td>第5週 :</td> <td>動物取扱業者の職業論理、復習問題</td> <td>第20週 :</td> <td>動物の健康管理と公衆衛生④</td> </tr> <tr> <td>第6週 :</td> <td>動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生①</td> <td>第21週 :</td> <td>動物の健康管理と公衆衛生、復習問題</td> </tr> <tr> <td>第7週 :</td> <td>動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生②</td> <td>第22週 :</td> <td>家庭動物管理士対策</td> </tr> <tr> <td>第8週 :</td> <td>動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生③</td> <td>第23週 :</td> <td>動物の適正な繁殖方法①</td> </tr> <tr> <td>第9週 :</td> <td>動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生④</td> <td>第24週 :</td> <td>動物の適正な繁殖方法②</td> </tr> <tr> <td>第10週 :</td> <td>動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生、復習問題</td> <td>第25週 :</td> <td>動物の適正な繁殖方法③</td> </tr> <tr> <td>第11週 :</td> <td>動物に関する基礎意識と公衆衛生①</td> <td>第26週 :</td> <td>動物の適正な繁殖方法④</td> </tr> <tr> <td>第12週 :</td> <td>動物に関する基礎意識と公衆衛生②</td> <td>第27週 :</td> <td>動物の適切な繁殖方法、復習問題</td> </tr> <tr> <td>第13週 :</td> <td>動物に関する基礎意識と公衆衛生③</td> <td>第28週 :</td> <td>家庭動物管理士認定試験練習問題と解説①</td> </tr> <tr> <td>第14週 :</td> <td>動物に関する基礎意識と公衆衛生④</td> <td>第29週 :</td> <td>家庭動物管理士認定試験練習問題と解説②</td> </tr> <tr> <td>第15週 :</td> <td>動物に関する基礎知識と公衆衛生、復習問題</td> <td>第30週 :</td> <td>後期総合復習</td> </tr> </table>				第1週 :	動物取扱業者の職業論理①	第16週 :	前期総合復習	第2週 :	動物取扱業者の職業論理②	第17週 :	動物の健康管理と公衆衛生①	第3週 :	動物取扱業者の職業論理③	第18週 :	動物の健康管理と公衆衛生②	第4週 :	動物取扱業者の職業論理④	第19週 :	動物の健康管理と公衆衛生③	第5週 :	動物取扱業者の職業論理、復習問題	第20週 :	動物の健康管理と公衆衛生④	第6週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生①	第21週 :	動物の健康管理と公衆衛生、復習問題	第7週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生②	第22週 :	家庭動物管理士対策	第8週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生③	第23週 :	動物の適正な繁殖方法①	第9週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生④	第24週 :	動物の適正な繁殖方法②	第10週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生、復習問題	第25週 :	動物の適正な繁殖方法③	第11週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生①	第26週 :	動物の適正な繁殖方法④	第12週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生②	第27週 :	動物の適切な繁殖方法、復習問題	第13週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生③	第28週 :	家庭動物管理士認定試験練習問題と解説①	第14週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生④	第29週 :	家庭動物管理士認定試験練習問題と解説②	第15週 :	動物に関する基礎知識と公衆衛生、復習問題	第30週 :	後期総合復習
第1週 :	動物取扱業者の職業論理①	第16週 :	前期総合復習																																																													
第2週 :	動物取扱業者の職業論理②	第17週 :	動物の健康管理と公衆衛生①																																																													
第3週 :	動物取扱業者の職業論理③	第18週 :	動物の健康管理と公衆衛生②																																																													
第4週 :	動物取扱業者の職業論理④	第19週 :	動物の健康管理と公衆衛生③																																																													
第5週 :	動物取扱業者の職業論理、復習問題	第20週 :	動物の健康管理と公衆衛生④																																																													
第6週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生①	第21週 :	動物の健康管理と公衆衛生、復習問題																																																													
第7週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生②	第22週 :	家庭動物管理士対策																																																													
第8週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生③	第23週 :	動物の適正な繁殖方法①																																																													
第9週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生④	第24週 :	動物の適正な繁殖方法②																																																													
第10週 :	動物販売に必要な基礎知識と公衆衛生、復習問題	第25週 :	動物の適正な繁殖方法③																																																													
第11週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生①	第26週 :	動物の適正な繁殖方法④																																																													
第12週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生②	第27週 :	動物の適切な繁殖方法、復習問題																																																													
第13週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生③	第28週 :	家庭動物管理士認定試験練習問題と解説①																																																													
第14週 :	動物に関する基礎意識と公衆衛生④	第29週 :	家庭動物管理士認定試験練習問題と解説②																																																													
第15週 :	動物に関する基礎知識と公衆衛生、復習問題	第30週 :	後期総合復習																																																													
教科書・参考書等	家庭動物管理士3級テキスト 全国ペット協会																																																															
成績評価	<p>(1)各科目の評定は上位より5・4・3・2の4段階とする。2評定は警告とする。なお、1評定は不合格とする。</p> <p>(2)評定については次の諸項目を基準に判断して行う。</p> <p>①期末試験得点 90%</p> <p>②小テスト 10%</p>																																																															
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 家庭動物管理士認定試験の資格取得を目的とした授業になります。動物に関わる仕事をするために必要な資格になりますので、高い意識をもって授業に取り組むことが必要です。</p> <p>【メッセージ】 授業の内容には資格取得目的以外の必要な動物に関わる仕事に必要な知識を学ぶこともできますので、皆さんにとって有意義な授業になると思います。</p>																																																															

科目名		担当教員名		学年/学期	対象コース		
チームマネジメント		高橋 藍		1・2年/前期	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
選択	8時間	1	演習	校内			
授業概要・目的	チームで目標を達成することや、チームのマネジメントについて実践的に学ぶ。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで目標を達成に向けて行動が出来る。 ・チームマネジメントの重要性について説明ができる。 						
授業計画	座学の授業ではチームで行動をしたり一つの目標を達成するという機会がないため、上記の目的・目標を達成するために、学生が主体的にチームを編成したり、競技種目や対戦の組み合わせなどを考えたりと、チームで目標達成に向けて実践的に学ぶことができる体育祭を通じてチームマネジメントを学ぶ。						
成績評価	<p>(1)単位については次の項目を基準に認定する。 演習を校長が評価し、単位を認定する。</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	※新型コロナウィルスの蔓延防止のため、開講しない。						

科目名		担当教員名		学年/学期	対象コース		
イベントマネジメント		高橋 藍		1・2年/後期	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
選択	8時間	1	演習	校内			
授業概要・目的	イベントを通じて、仕事の進捗管理や店舗経営について実践的に学ぶ。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画立案、準備、設営、運営ができる。 ・イベント内容や進行について説明ができる。 						
授業計画	座学の授業ではイベントマネジメントに実践的に学べる機会がないため、上記の目的・目標を達成するために、学生が主体となってイベントの企画立案から設営準備、店舗運営、お金の予算・収支管理に至るまで実践的に学ぶことができる文化祭を通じてイベントマネジメントを学ぶ。						
成績評価	<p>(1)単位については次の項目を基準に認定する。 演習を校長が評価し、単位を認定する</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 外部のお客様もいらっしゃるイベントのため、事前の準備はもちろんのこと、スムーズな運営が重要です。特に、お金の管理は間違いないようにしっかりとやることが大切です。 【メッセージ】 社会人では企画立案、準備、運営、進捗管理など仕事のマネジメント力が求められます。 イベントマネジメントで、マネジメントとは何かを実践的に学びましょう。</p>						

科目名		担当教員名		学年/学期	対象コース		
海外ビジネス研修		高橋 藍		2年/後期	全コース		
必修/選択	年間授業時間	単位数	授業形式	連携企業等/校内・校外			
選択	50時間	2	演習	校外			
授業概要・目的	英会話の授業で習ったことを演習として実践する。 ペットビジネス先進国のかを学ぶ。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で入国・出国の手続きができる。 ・英語でペット分野の専門用語が使える。 ・日本とペットビジネス先進国のかの違いを理解する。 						
授業計画	2月にペットビジネス先進国に研修に行きます。 ロサンゼルスで毎年開催されているトリミングコンテストの国際大会『Groom & Kennel Expo』や アメリカ西海岸では最大規模の動物病院『VCA Animal Hospital』の見学、 現地のペットシェルターや、ヘレン・ウッドワード・アニマルセンターの見学など、 ペットビジネスの先進国のかを直接認識する。						
成績評価	<p>(1)単位については次の項目を基準に認定する。 レポートの提出により校長が単位を認定する。</p>						
履修上の注意 担当教員からのメッセージ	<p>【履修上の注意】 海外ビジネス研修では団体行動が原則ですので、ルールを守って行動してください。身勝手な行動は厳禁です。 【メッセージ】 海外ビジネス研修でしか学べないこと、体感できないことが、たくさんあります。 動物のプロを目指す者として高い刺激を受けられることは間違いません。</p>						